

SEIRAPHIM COMICS

成年
コミック

山田タヒチ

稜



稜

— RYO —



山田タヒチ

成年
コミック

ヒット出版社

TAHIICHI YAMADA

RYO



ISBN4-89465-080-0

C9979 ¥924E

9784894650800

雑誌52002-30

(株)ヒット出版社



1929979009243

定価：本体924円+税

HERA

STAY WITH ME



CONTENTS

TungK

第一話	「崩壞」	————— 3 P
第二話	「豹變」	————— 23 P
第三話	「決別」	————— 43 P
第四話	「覺醒」	————— 59 P
第五話	「變化」	————— 79 P
第六話	「破壞」	————— 99 P
第七話	「恥辱」	————— 119 P
第八話	「發端」	————— 139 P
第九話	「輪迴」	————— 159 P

あっ

ん……

ひっ……

下の穴のすべてを
犯され

愛液とよだれを
流して快んで
いる……
いやらしい
娘だ……

ひ

静かな
音あ

んっ……

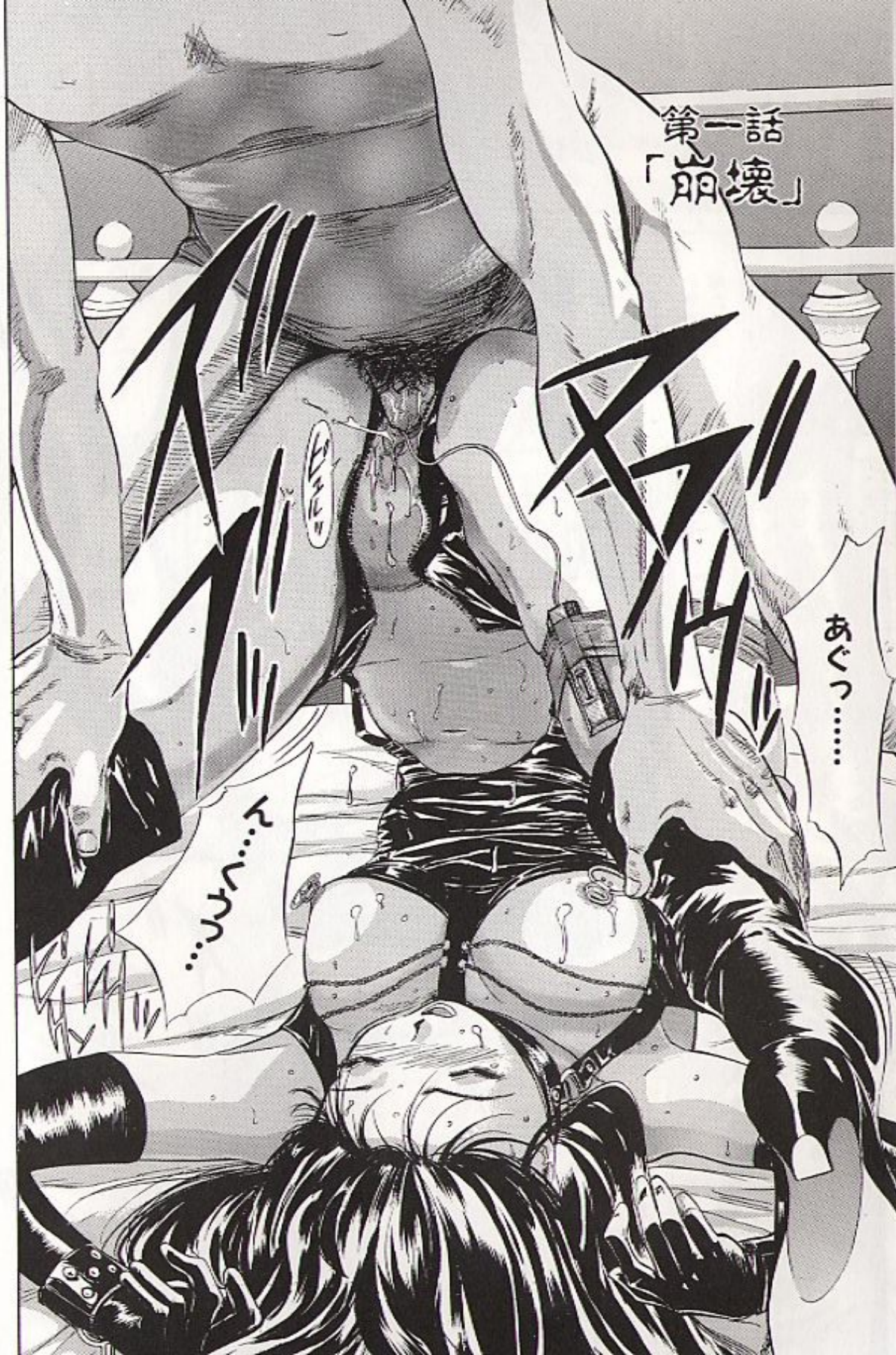
ん……あう

あ……うん

あん
あっ！

ひ……あ

第一話
「崩壊」



あぐっ……

……んんん



ア…
アアッ

んアッ
!

こんな所で放尿し
その上イったのか

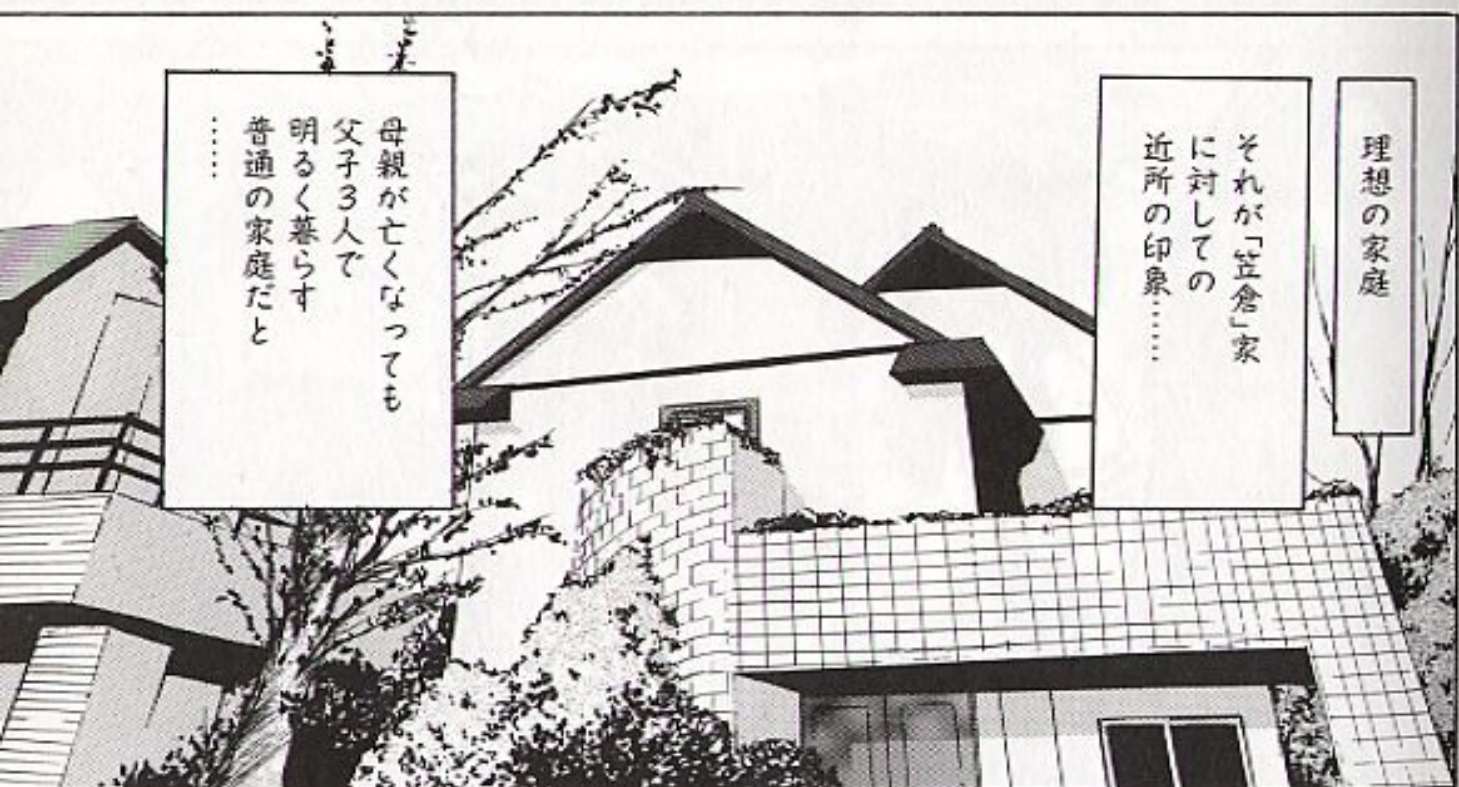
だらしない

まだこれからと
いうのに…

は…ア



姉...さん...



理想の家庭

それが「立倉」家
に対しての
近所の印象……

母親が亡くなっても
父子3人で
明るく暮らす
普通の家庭だと
……



しかし
それは
偽り

今晚は
稜ちゃん

こんばんは……



本当のことなんか
だれも分かつちや
いないんだ

だれも…



姉さん!

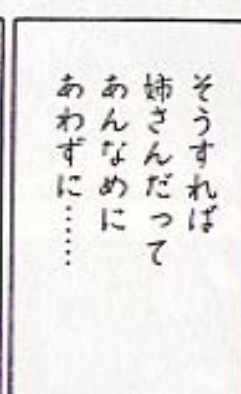
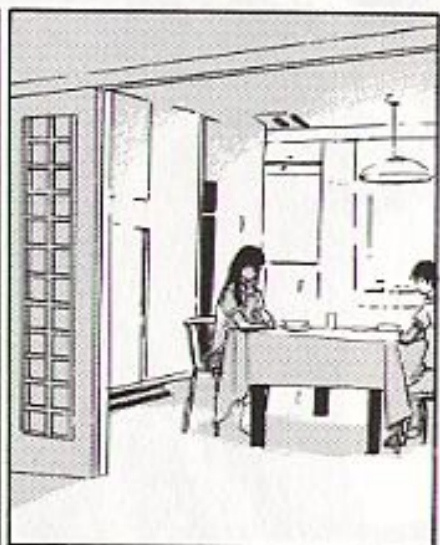
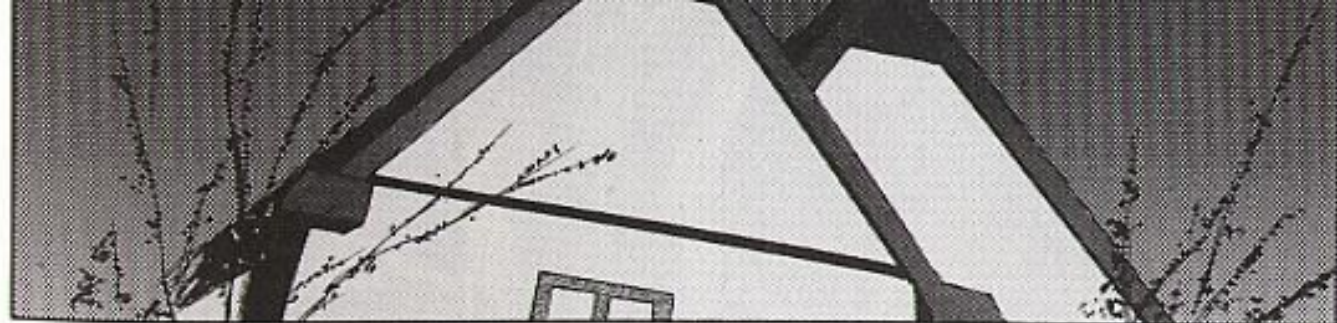
今帰り?

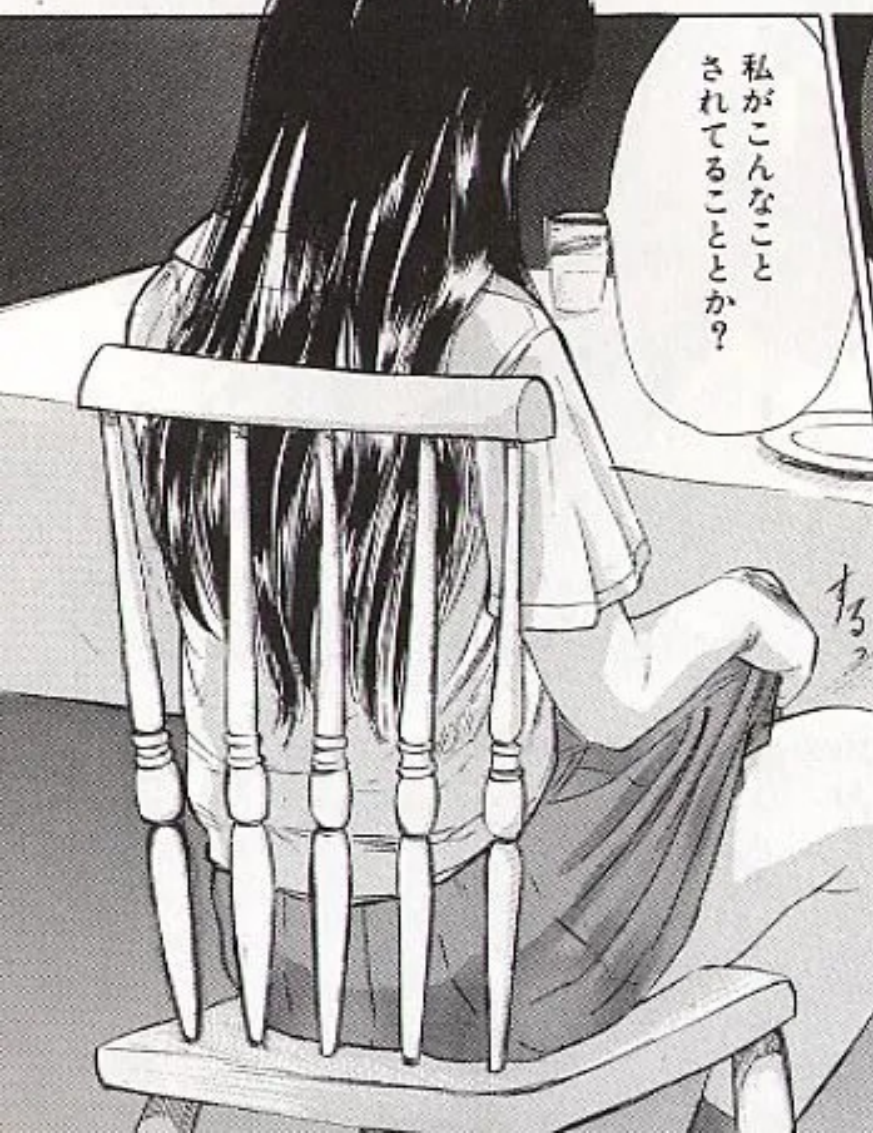


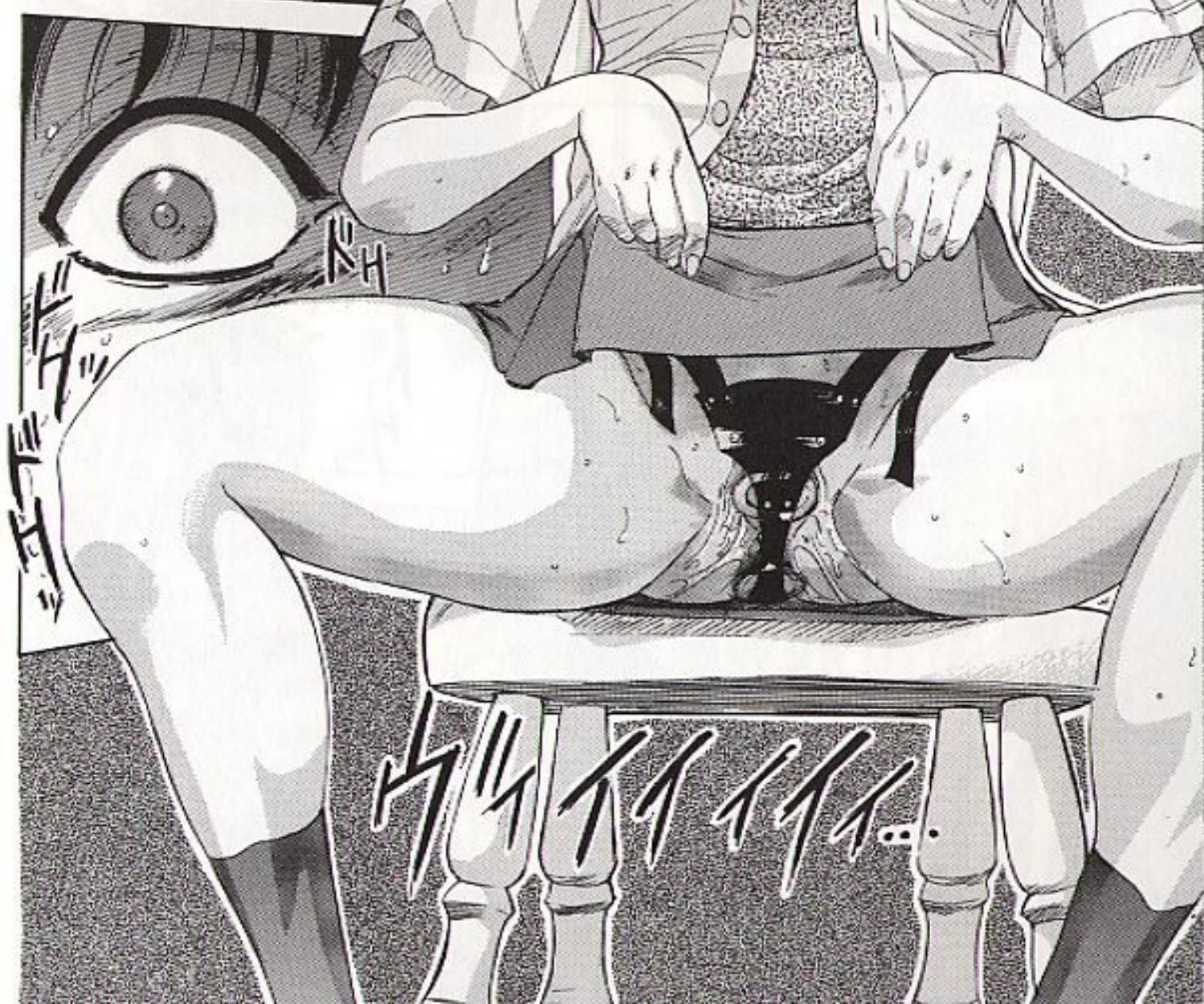
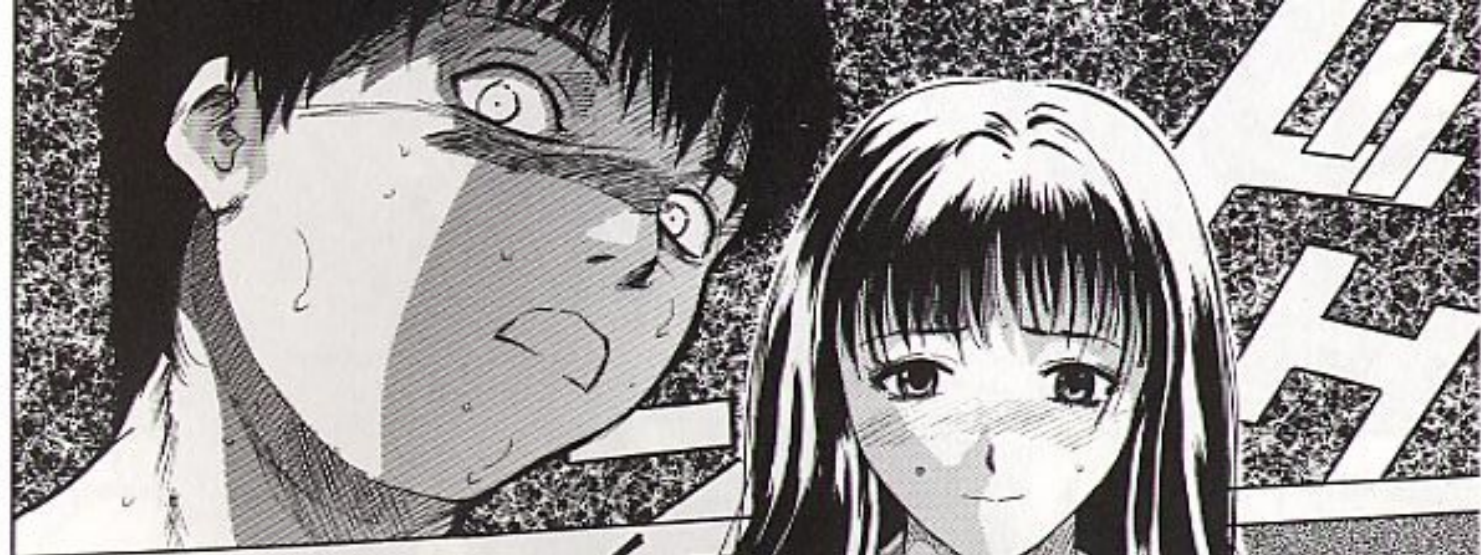
稜 りょう

!











ふ...ふ...ふ
はっはっはっ

ふ...ふ

知ってるでしょ
稜



私とお父さんの
こと...

あ
ガ
ッ

ハ：ん：ア
ツハアツ

はア

1613

1012

1012

15 P.

はア

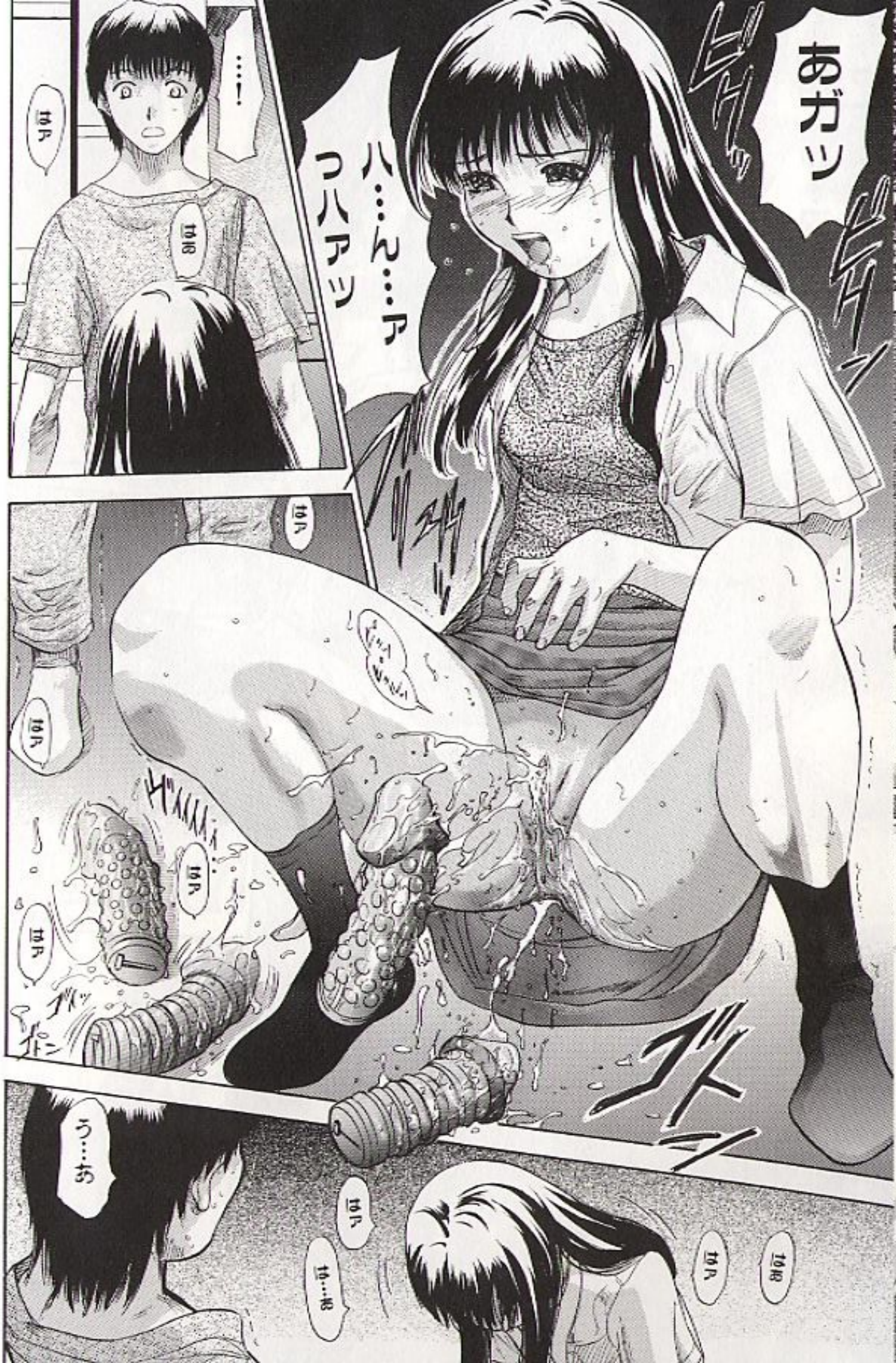
st...u

101

10...

15

7548







姉さん

だめだっ

んっっ！

……!!



ん

アアアッ!

ズン

あ...

ひ...あ

入っちゃったよ
稜の...

ズン



はア

アッ

あッ

んッ

ん

んふッ

アッ...
アッ

アッ

アッ

ハア

ひ

アッ

アッ...
アッ

や8...
アッ

いやだ...
こんなの

これじゃまるで

父さんと同じ...

!



父……さん？

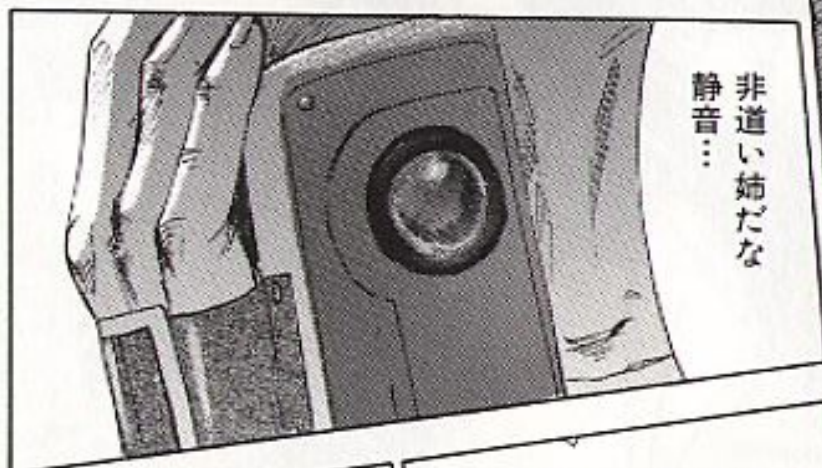
ん……
お父さん

見て……
稜とこんなに
深くつながって

キムラ



非道い姉だな
静音……



稜と
SEXする所を
撮ってくれた
なんて……

自分の弟を
何だと思ってるん
だ？

お父さん！稜
いきそうよ

姉さんが……？
ウソだ……



あ……やあ……

撮って
稜が出す所
撮って！！



▶ REC

！！



うソだ——っ!!

んあっ
ああっ

ふ...

あ...
う...
う...

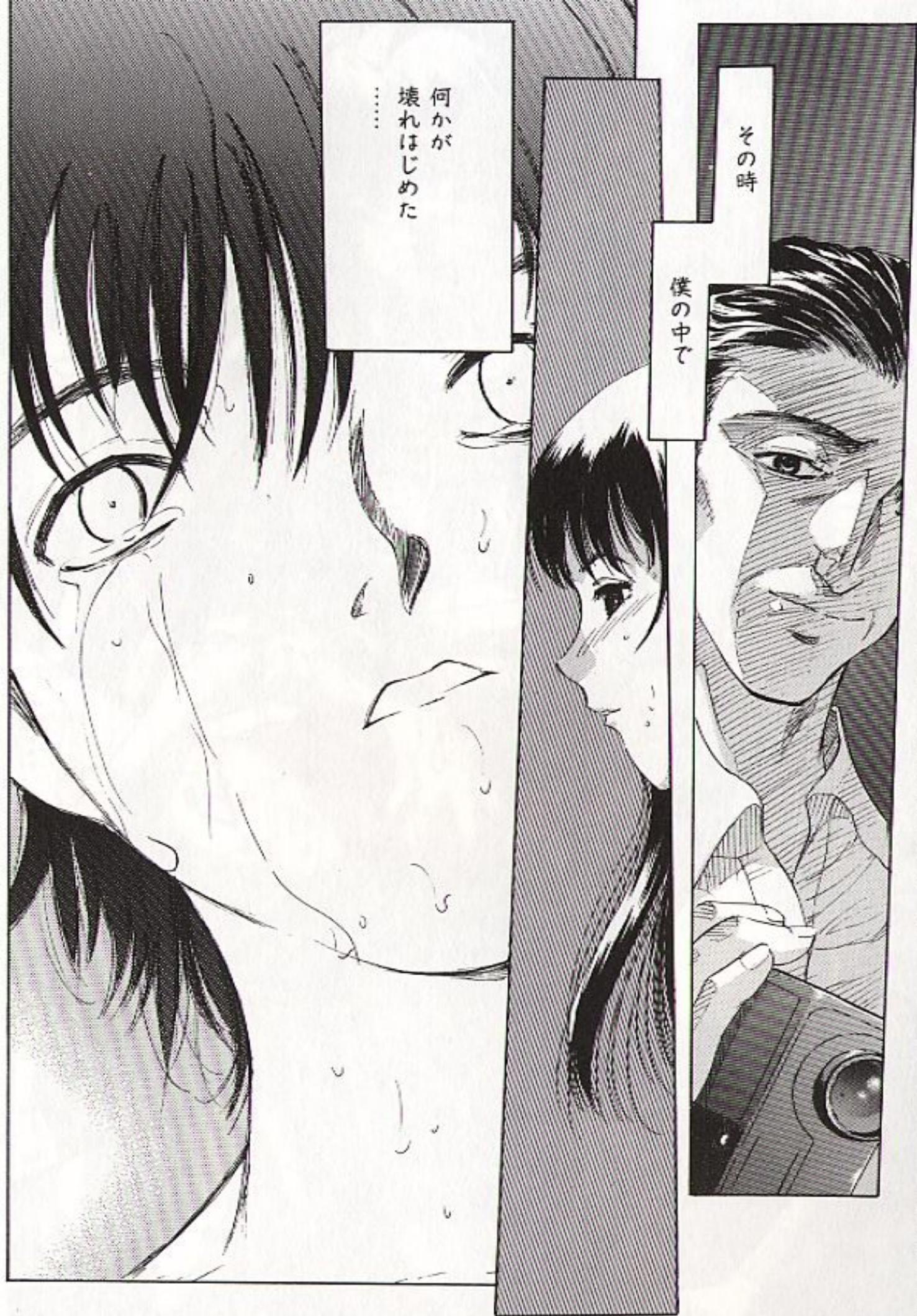
.....



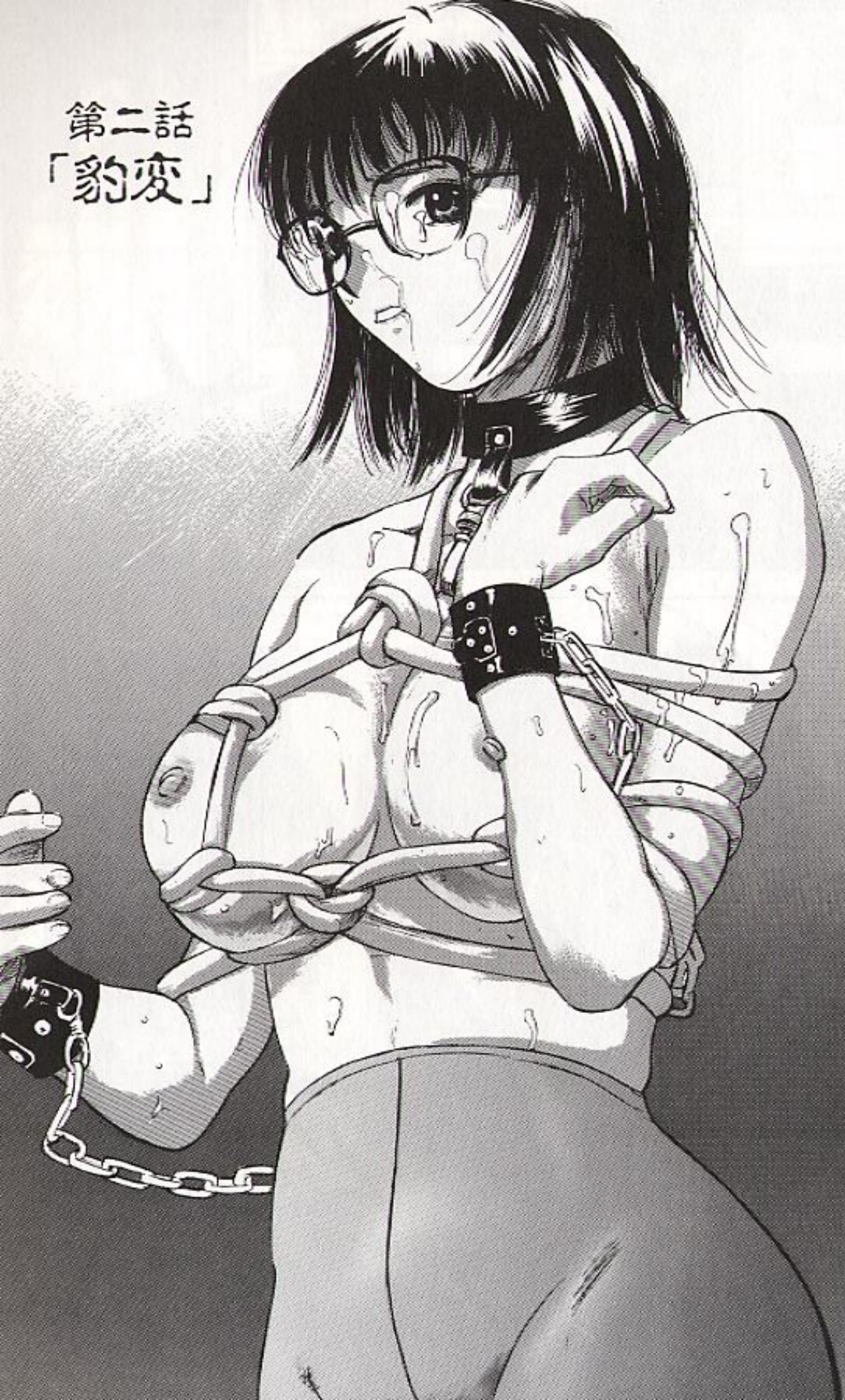
その時

僕の中で

何かが
壊れはじめた
……



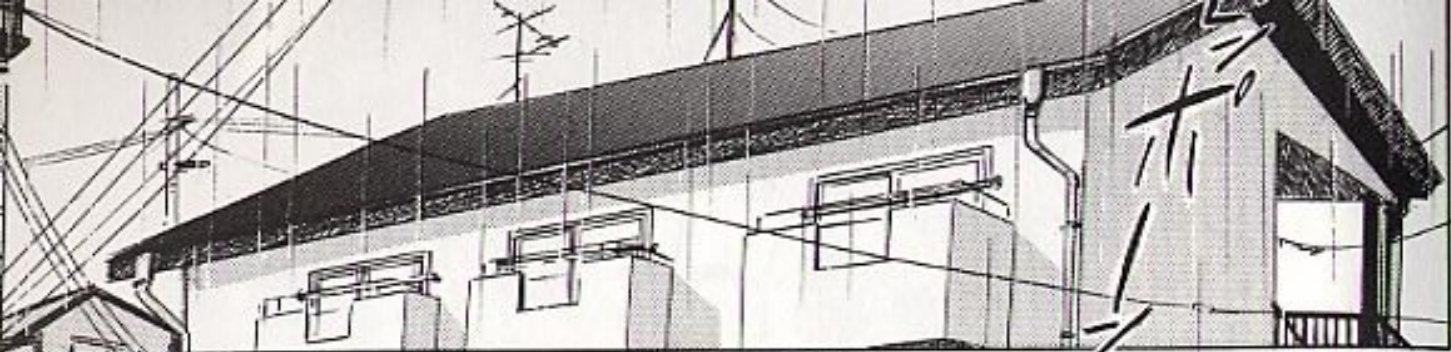
第二話
「豹変」





裏切られた……





私も
してもらいたいな
…その「お礼」

父さん!?

父さん
まさか……

!

先生
……

いつも稜のことを
気にかけてくださって
ありがとうございます

稜もあなたの
ことをひどく
慕っておられる
ようで

これは私の
心ばかりの
お礼です

受けとって
いただけ
ますか?

あ…う

う…あ…う

先程飲まれた
紅茶に筋肉弛緩剤
を混入させて
いただきました

しばらくは
全身の筋肉が
弛緩し
思うように
動けません

先生は
遠慮深い方と
お見受け
したので…
こうでもしないと
受けとっていただ
けないと思いまし



さあ 受け取って
下さい……

ん…

んっ

ん…ん…

ん!

んっ

素晴らしい
柔らかいですよ
先生……

や…ん…ん…
…う!

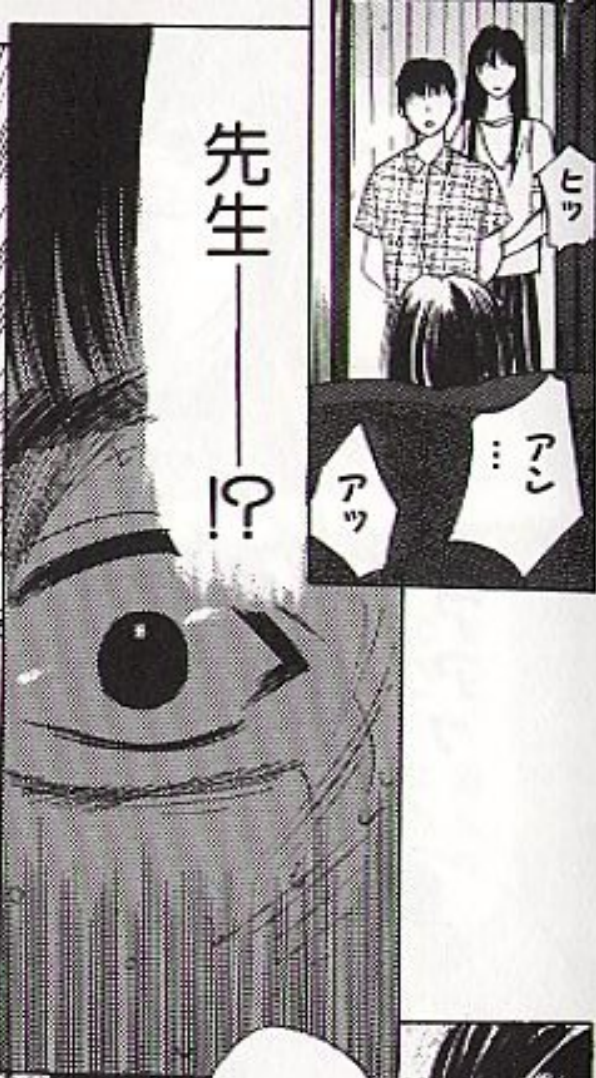
ハ…ん

ハ…ん









お願い
……
早く……

入れて
……

入れ
てエ……

う……ア
アッ

ん
アアアッ
!!



۴۴۴

は

✓ 1500

アハツ

はい

はっあ……

7...7

アツ

あふっ…寝くん
のぺー…ス…
……
…トランス…

見て
入ってる……先生の……

2460

1646



…ん…っ

!!
…

あっ…ん…っ

はアアア
アッ!!





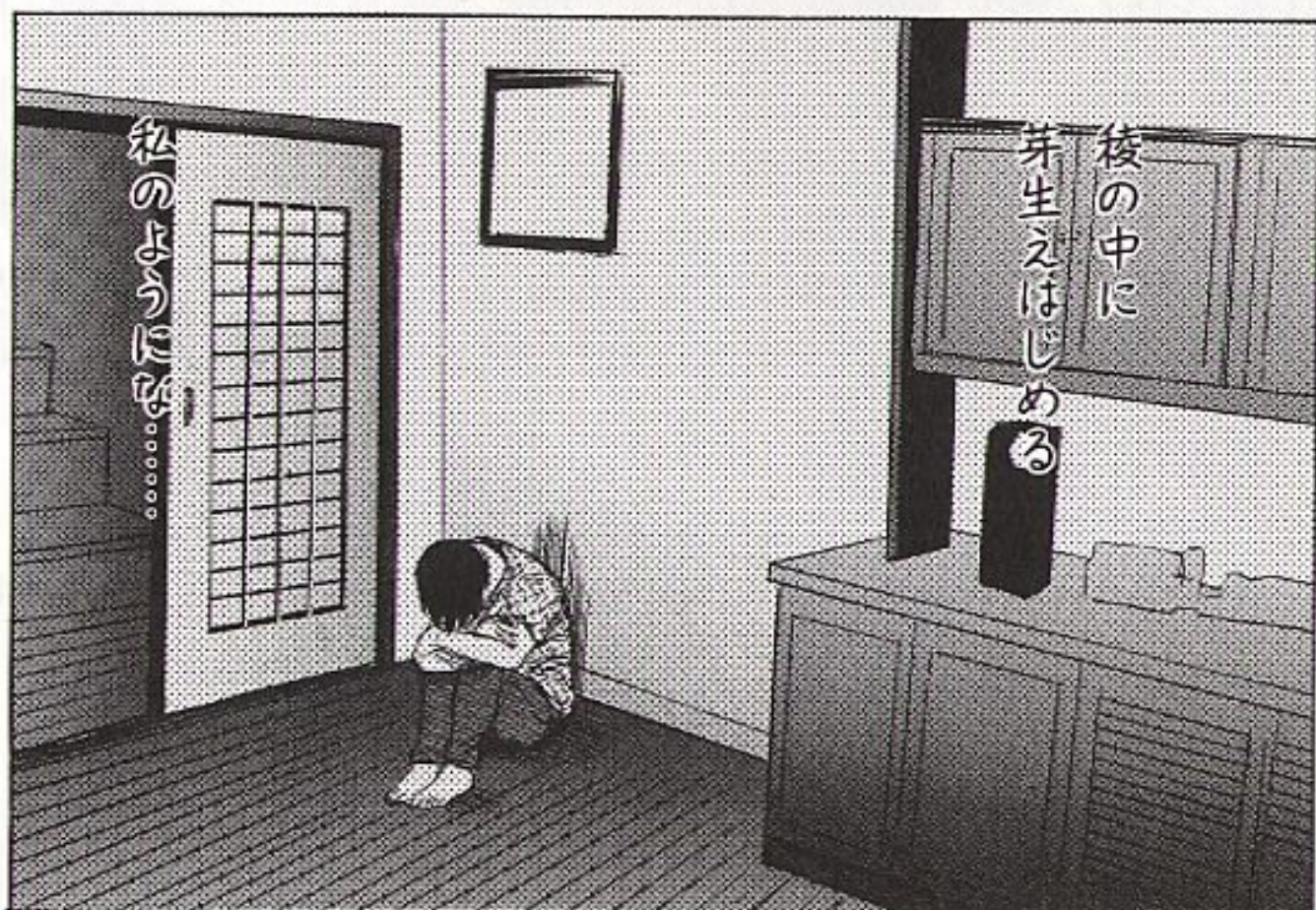
お父さん
稜自分から
腰動かして
いたね

ああ……
ああいうことを
だれよりも嫌悪する
子供だが――



今度のことで
それが大きく
変化してきたと
いえるだろ
う……

そして
大切なモノを
失なつてまで
快楽を
手にいれよう
とする心が



私のようにな……

稜の中に
芽生えはじめる



第三話
「決別」

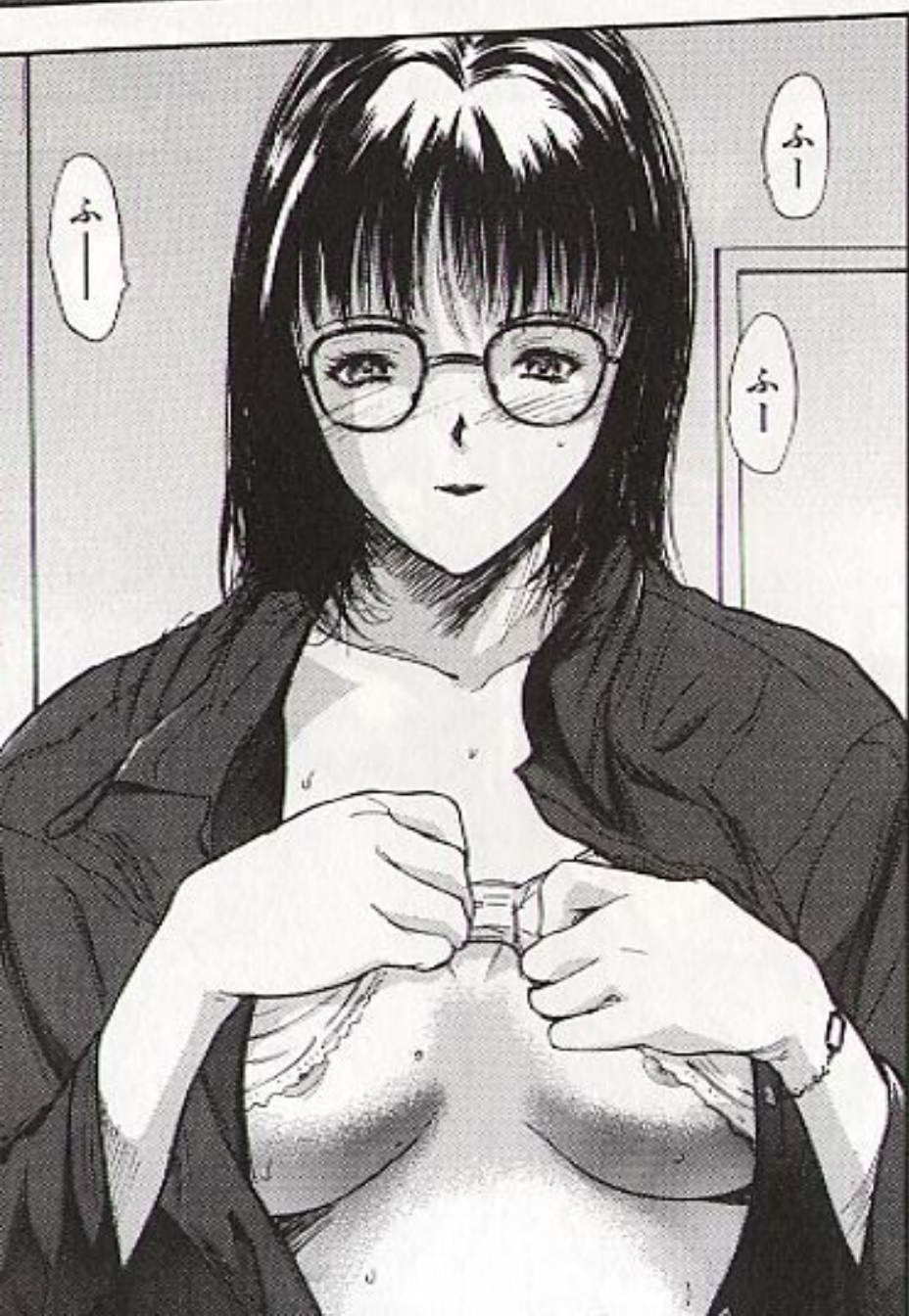
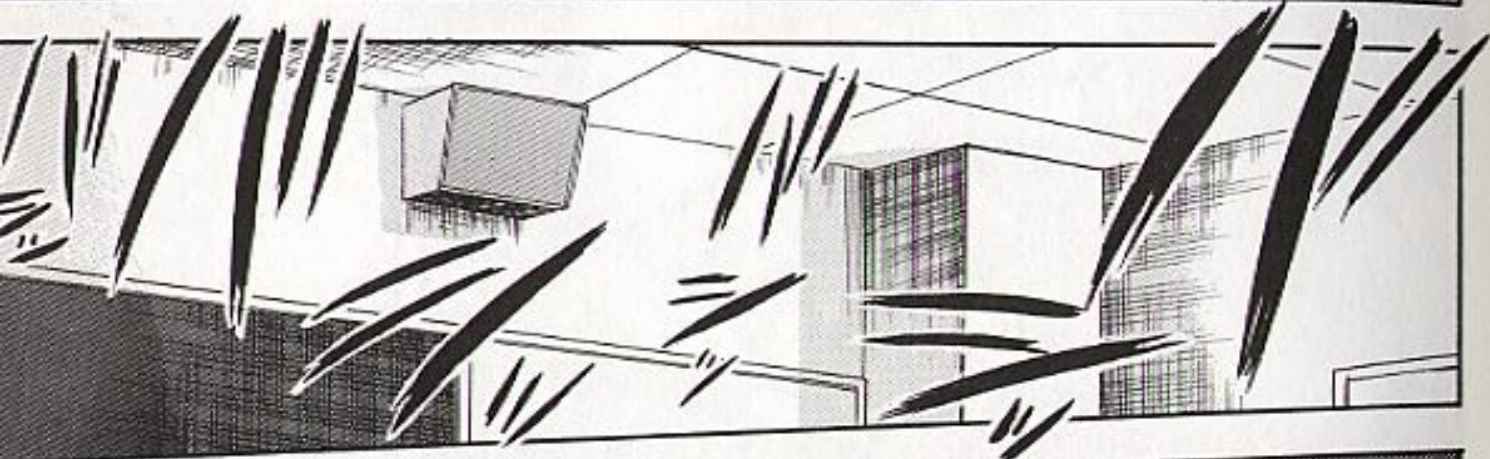




わあああつ

あああ





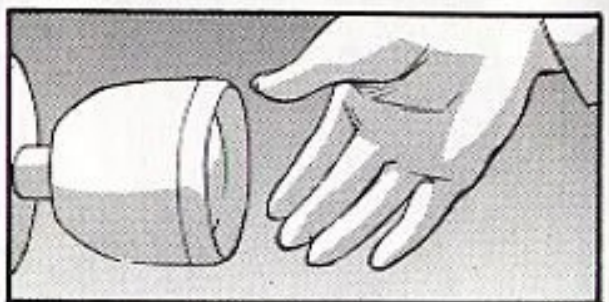
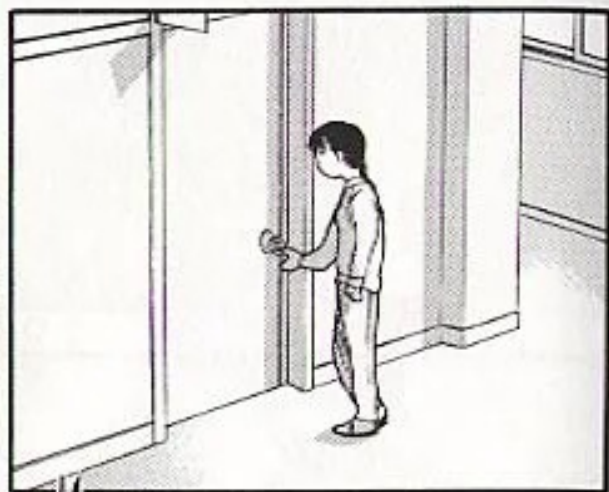




ア
ハ
ア
ア
ア
ッ









オ...オオ...オ

いい
オチンチン...
...
よ
いいオチンチン
寝くんッ...

アッ

んフウッ

あッ

あッ

あッ

う...う...

いきそうなの?

いきそうなのね

私もオ...オ

いきそう...

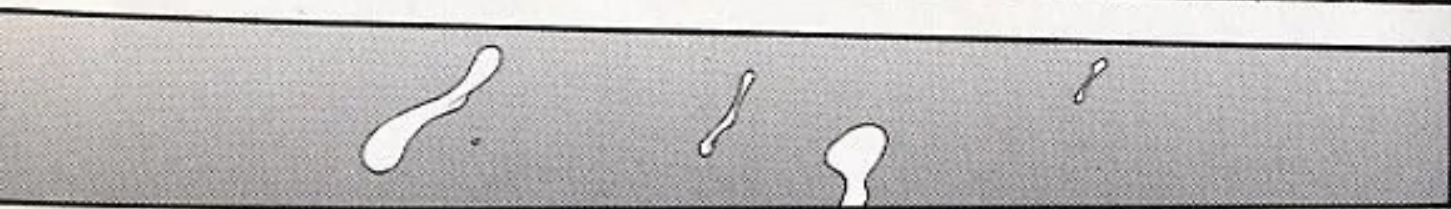
いきそうなのッ!

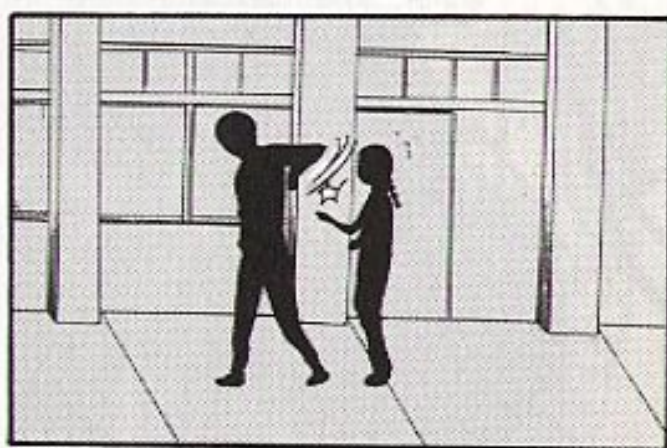
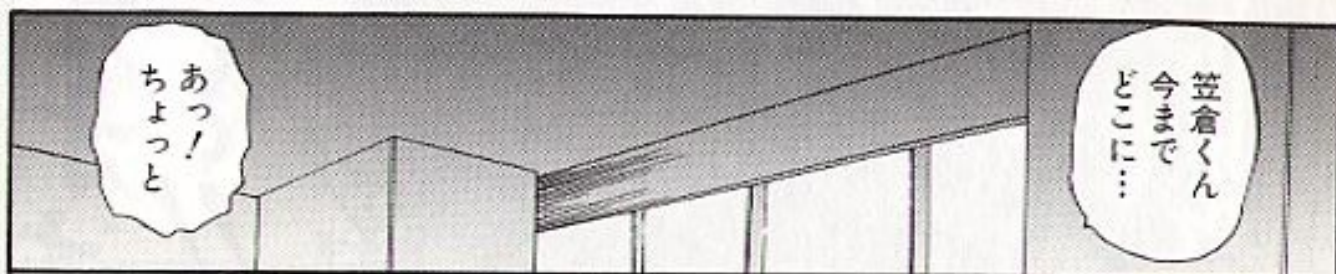
ンオ
オッ...

学校で…
こんな所で…エ
……

はアッ
んアア…

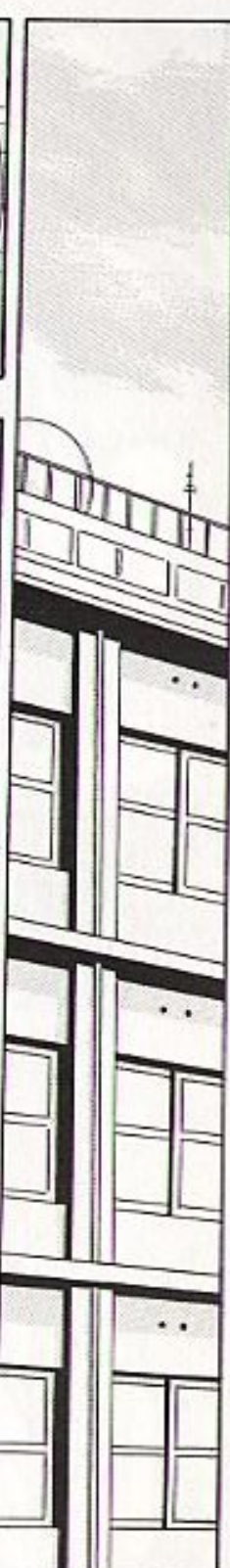
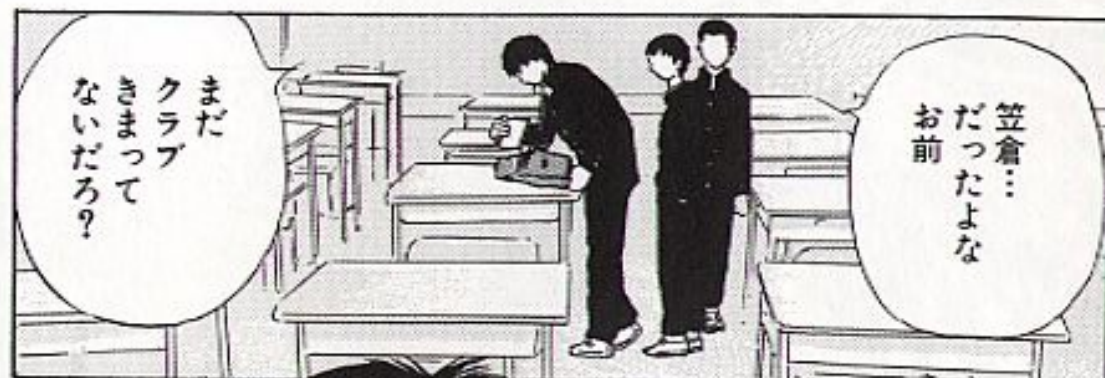






第四話
「覚醒」







すげー
ムカつく
あいつ

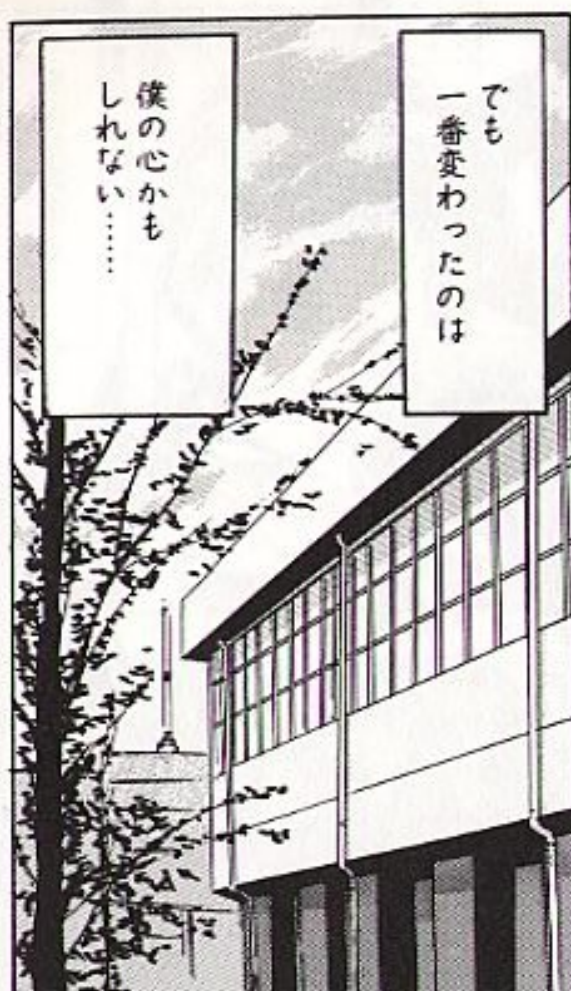


中学か…



変わった

年齢も
背も
周囲も



でも
一番変わったのは

僕の心かも
しれない……

笑えなくなった

人のことが
信じられなくなった……

姉さんのこと、先生のこと
そして、父さんのこと……
それが僕を変えた……

笠倉くん

笠倉くん
どうしたの？



……
別に

……
そう？
ずっと
だまりこんで
いたから……



彼女の名は
福島裕子
少し前に告白され
なんとなく
つき合っている

——でね
面白
いん
だよ



人のことが
信じられないと
言った僕でも

彼女だけは
心を許せる
そんな気が
していた……





よく笑う

彼女は僕のかわりに
よく笑う



その笑顔を...



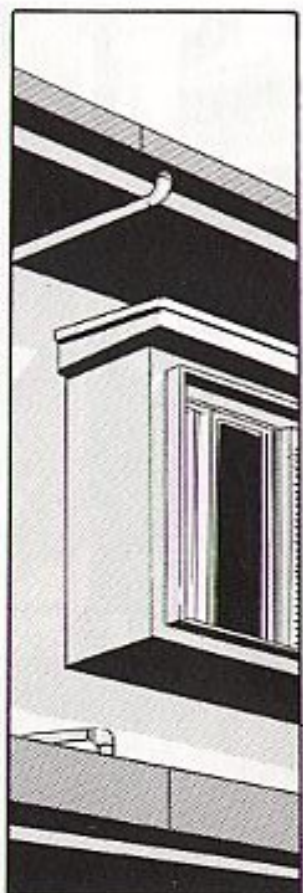
ぐちゃぐちゃに
変えられたら：

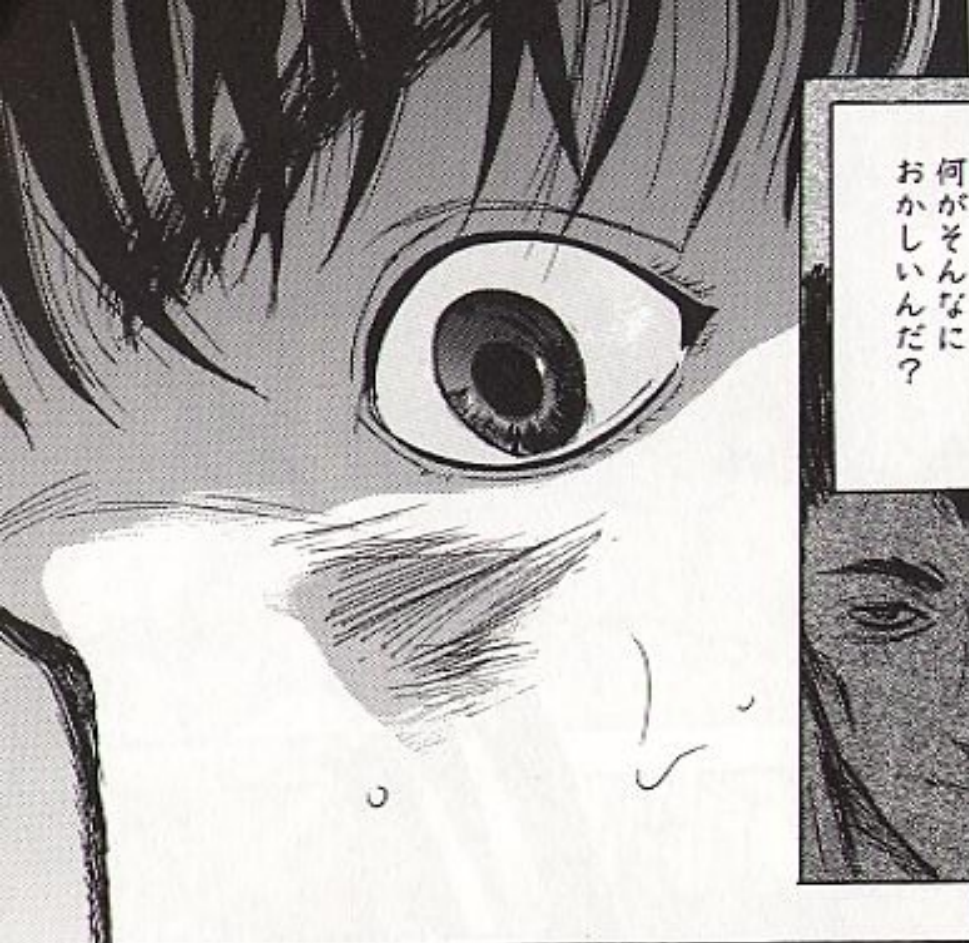


何を考えて
いるんだ
僕は……

何を……







何がそんなに
おかしいんだ？

何が…



C D
かけようか

terfの
新譜が…























その時僕は
僕の中の
魔物に

恐怖して
いた……



はあ

あ

あつ

稜
よく見ろ
お前の姉を...

ドゥン

何故 静音が
ここまで

肉親である私との
行為に溺れるように
なったか

ドゥン

分かるか？

あつ

ふあつ

グググ







今日も
休みだったね
裕子

一週間かあ
長いよ……



あれじゃない？
登校拒否！

ウソ
裕子しないよ
ぜんぜんそんな
様子なかったし……



カゼで一週間
休む？

やっぱり
へんだよ



オ…オレ
みんなから
嫌われてるのに…さあ



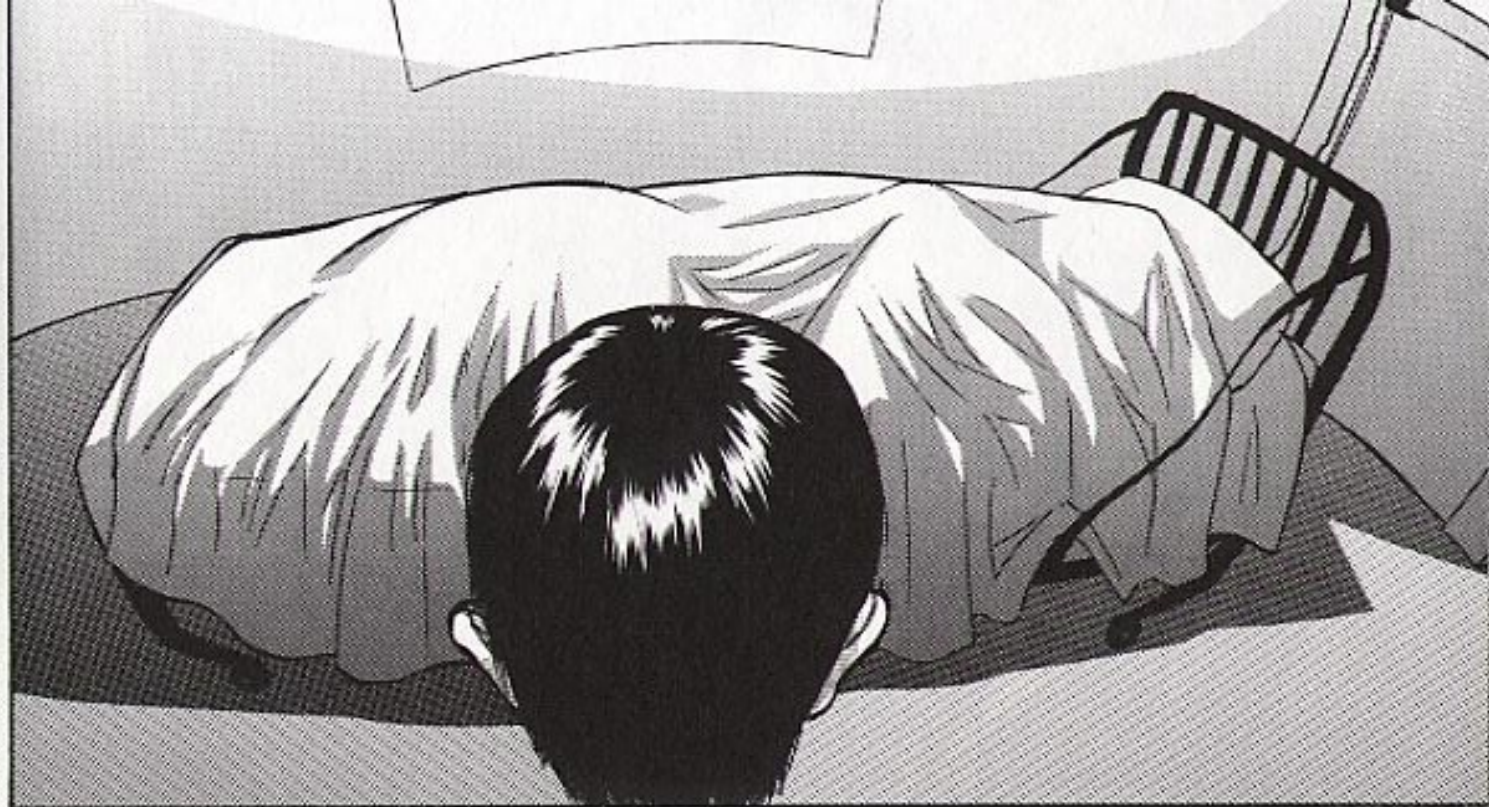
オ…オレ
じゃ…じゃまじゃ
ないかなア

……

いっしょに
見舞いに行こうって
さ…さそってくれて
……

笠倉…くん
あ…あの





心配してた

この一週間

不安で

誰かに
話すんじゃ
ないかって…

か…笠倉くん……？

まだ話して
ないんだね…
でも
いつかは
話すんだろ

いやあああ!!

やあ

やあ

!!





変えるしか……



裕子!?



笠倉くん
やめなさい

笠倉くん!!



もりお
森尾

こいつを
押さえろ!!

そ…
そんなこと
……

森尾……

たのむよ

友・達・だ・ろ……

わあわあわあ!!









速効性の
催淫剤だ

麻薬と同じ
習慣性もある
……
女性に限定
するけど……



同じだ……

彼女にも
効いてきたらしい……

姉さんの顔と……





あつ...

ひゃ

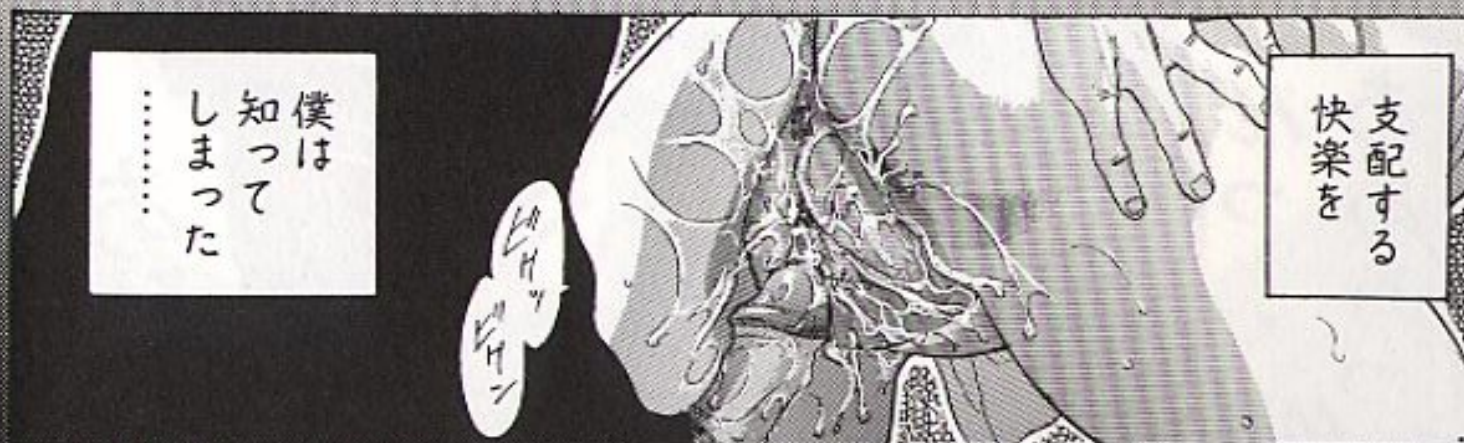
あああつ!!



支配する
快樂を

僕は
知って
しまった
.....

ハハッ
ハハッ





第六話
「破壊」

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

みち
みち

ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ





オ…ア…

キッ

だ…め

！ア…ん…
フ…ツ…

アッ

お…お…

あ

お…お…

は…は…

ニオアアッ…





本当？
笠倉くん

福島さん家に
行っても
いいの!?

面白いこと
思いついてさ…

キミにも
協力して
もらいたいんだ

用意出来しだい
連絡する…

か…
笠倉くん
オ…オレ
心配して
たんだ…あの
見捨てられた
の…

だ…
だけど…

森尾…





凄い声だね
 自分の娘が目の前で
 あんなめに遭ってる
 のに

んオ…オッ

犬だからだ……

おあっ

あっ

んア

面白いだろ
森尾？

あふっ

あっ

つわあああ

ヒヒ
ハハ

面白いわけ
ないだろオ!!

それは
良かった
……

んハッ

オ

オフッ

僕が面白ければ
それでいいん
だよ

ンフッ

おにがっ

おにがっ





うア...ア
アッ...

ハウッ
あふっ

...っ...ハ

ちゅっ
にゅっ
ちゅっ
にゅっ

ちゅっ
にゅっ

ん...

見えるだろ
僕のが
いやらしい音を
立てながら
ここを

ぬるッ

出たり

入ったり



アッ...

出たり……

あ
あオオオ...

声も凄いけど
出し入れする時の
音もどンドン
大きくなってる…

本当……

締まりがない

ボツ

んオオツ

アッ

ダメ：
ダメっ！！

ハッ
アッ
アッ!!





犬…だね
この人

彼の相手に
丁度良いかな







ビリイ…!?



「ビリイ」って
言うんだ…



外で
寂しそうに
してたからさ
仲間に入れて
あげようと
思ってた……

フツ
フツ



薬の作用で
彼は発情期の
ピークの状態に
あるんだ

だから凄いや
犬も人も関係
ないからね



ビリイ
一緒に楽しもう

いやアアア!

アッ
アッ
アッ

あ
ア
ア
ッ
オ
ア
!!





ドブ

ン
オ
ブ
ア

バ
ア
エ

ア
エ





はあ

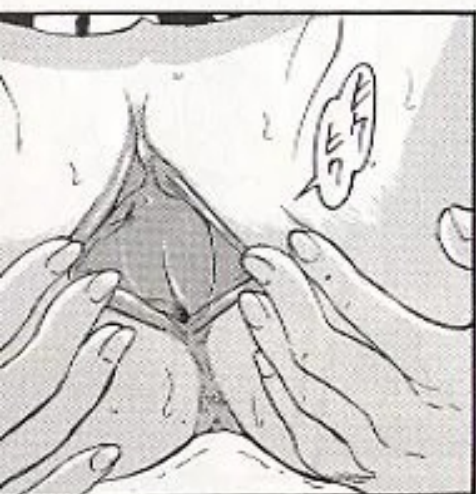
はあ

はあ...



第七話
「恥辱」







できるわけ
ないよ……！

あっ

あっ

はア

んふあ！

ちゅ
ちゅ

にちゅ

いやらしい音が
聞こえてきた…

いや…ア
違う…

違うう

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ















その席に向かって
自分の姦される姿を
さらしてるのは
どんな気分だい？

明日になれば また
クラスのみんなが
席について授業を
受ける

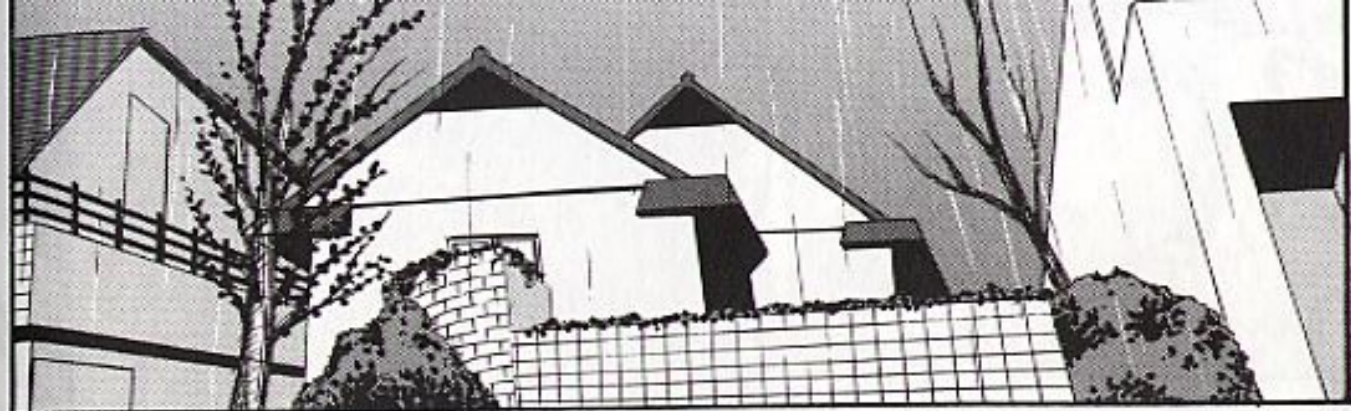




クラスの
みんなに
見せてあげなよ
キミのイク
瞬間を



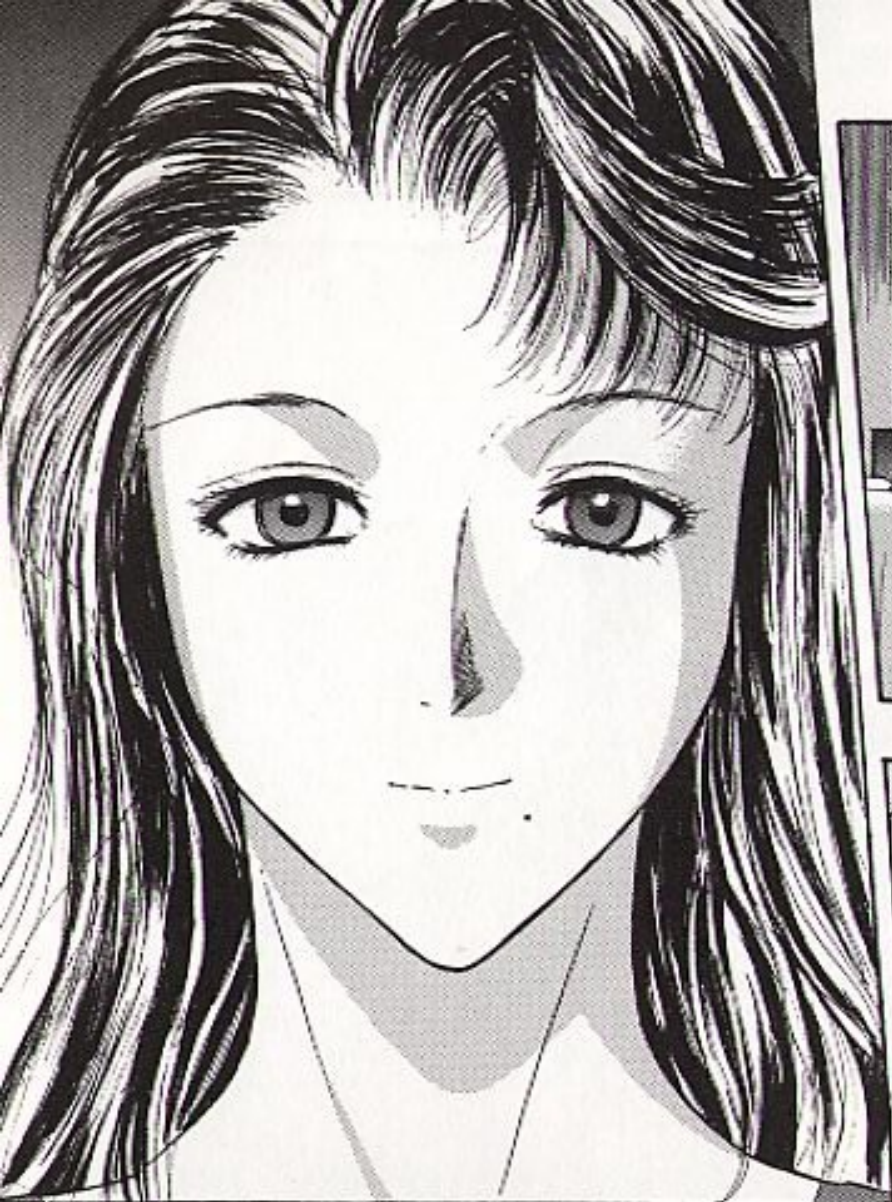




久しぶりね
稜



!?

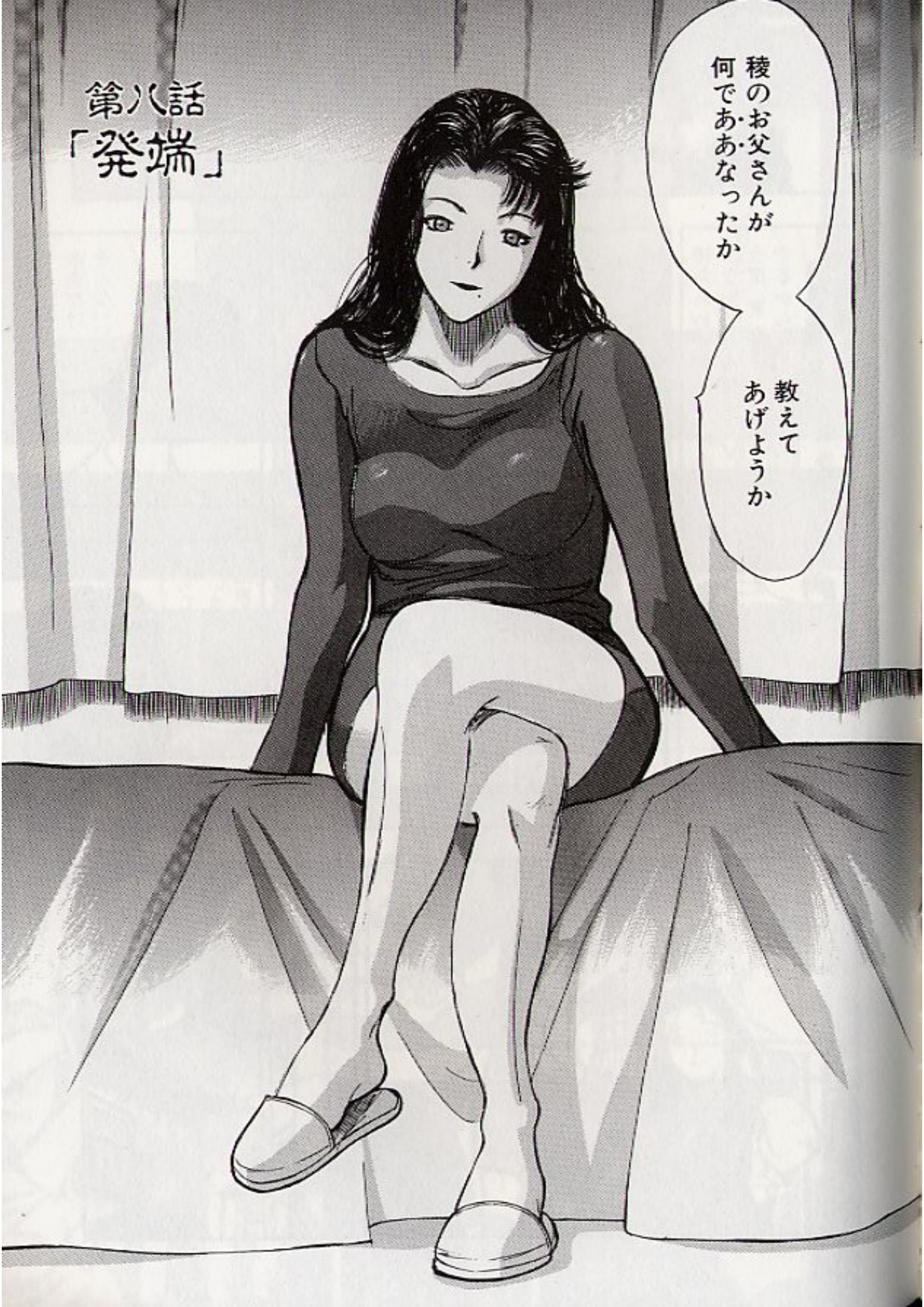




第八話
「癸端」

稜のお父さんが
何でああなったか

教えて
あげようか



1972年



持ちあわせが
少なかったんだよ
今度買って
やるから

本当!?



あの程度で
いい点だなんて
お兄ちゃんたら

うるさい!

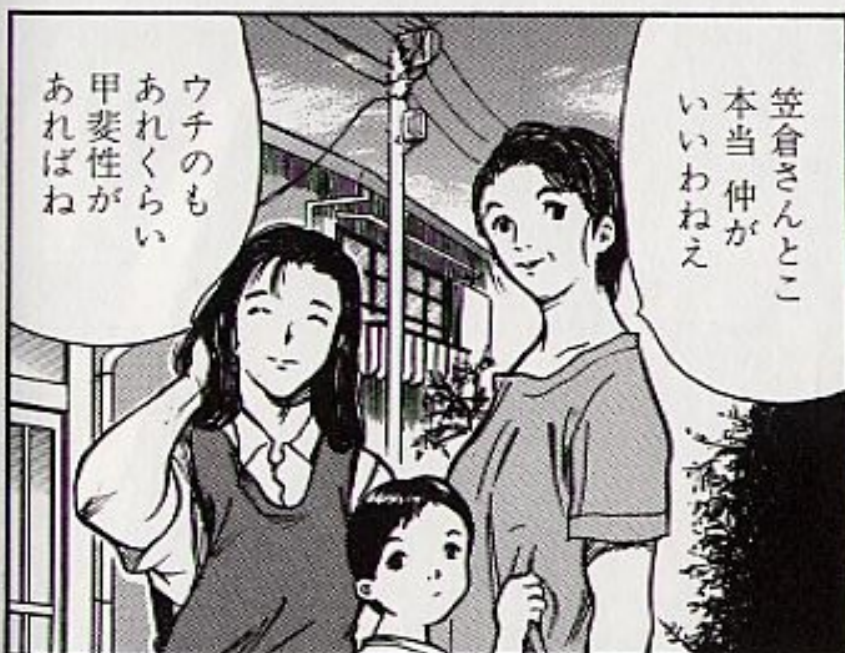
僕だって
こないだ
……



ずるいよ!
奈美だけ
そんないいの……



だって
いい点採ったらって
約束だもん



ウチのもの
あれくらい
甲斐性が
あればね

笠倉さんとか
本当仲が
いいわねえ



そのかわり
次もがんばるん
だぞ

無理
無理

うるさいなー!

笠倉善明の
大変な子煩悩ぶりから
近隣の人々は

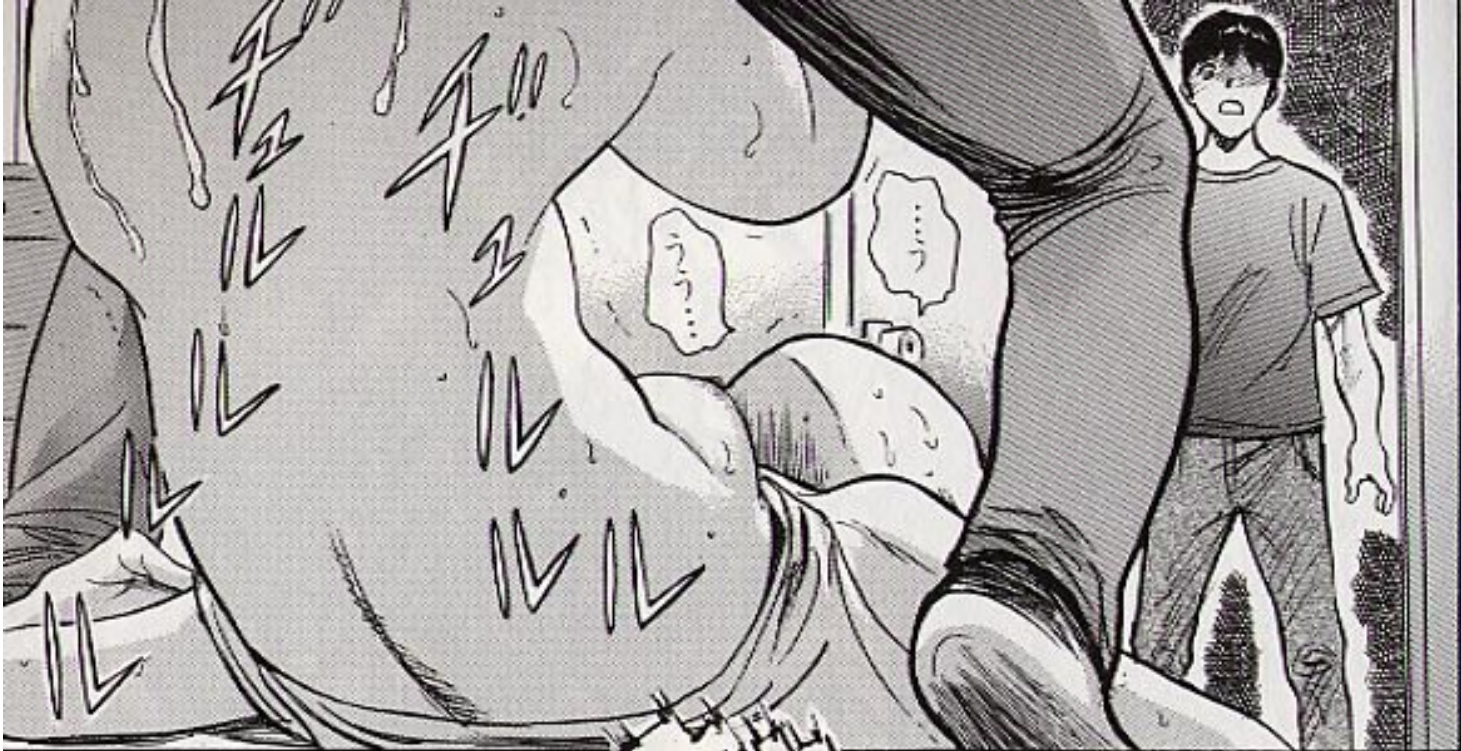
良き父 良き夫の
理想像を彼に
重ね見ていた

だが 真の彼は……





あ……
お……







父さんに姦されてから
数日後
兄さんは私を
罵倒しながら
何度も姦したわ



まるで
何かが切れたみたいに
激しく……

慰めるとか
まったく回を
きかなくなるとか
じゃなく

父さんへの怒りを
被害者である私に
ぶつける方に走ったのね
兄さんは……

でも私は……

そんな兄さんを
受け入れてしまった
……

あの時の
父さんの私への行為は
私達兄妹の
心のバランスを崩し

その崩れて
不安定な心が
2人を異常な性行為
に向かわせた……

稜も
そうなんですよ



知ってるのよ
すべて—
兄さんから
聞いたわ
だから
稜に
このことを
話したの

兄さんが
あんなった
理由を知って
もらい

稜も
兄さんと同じ道
を歩んでいるの
だということを
自覚してもらう
ために

兄さんはね…

望んで
いるのよ

稜が
兄さんの分身として
周りの人間を
壊してゆくのを

自分の
仲間が
増えてゆくのを
……

だから…



確認
したいの

稜がこれからも
人を壊しつづける
覚悟があるか
どうか……





ほら



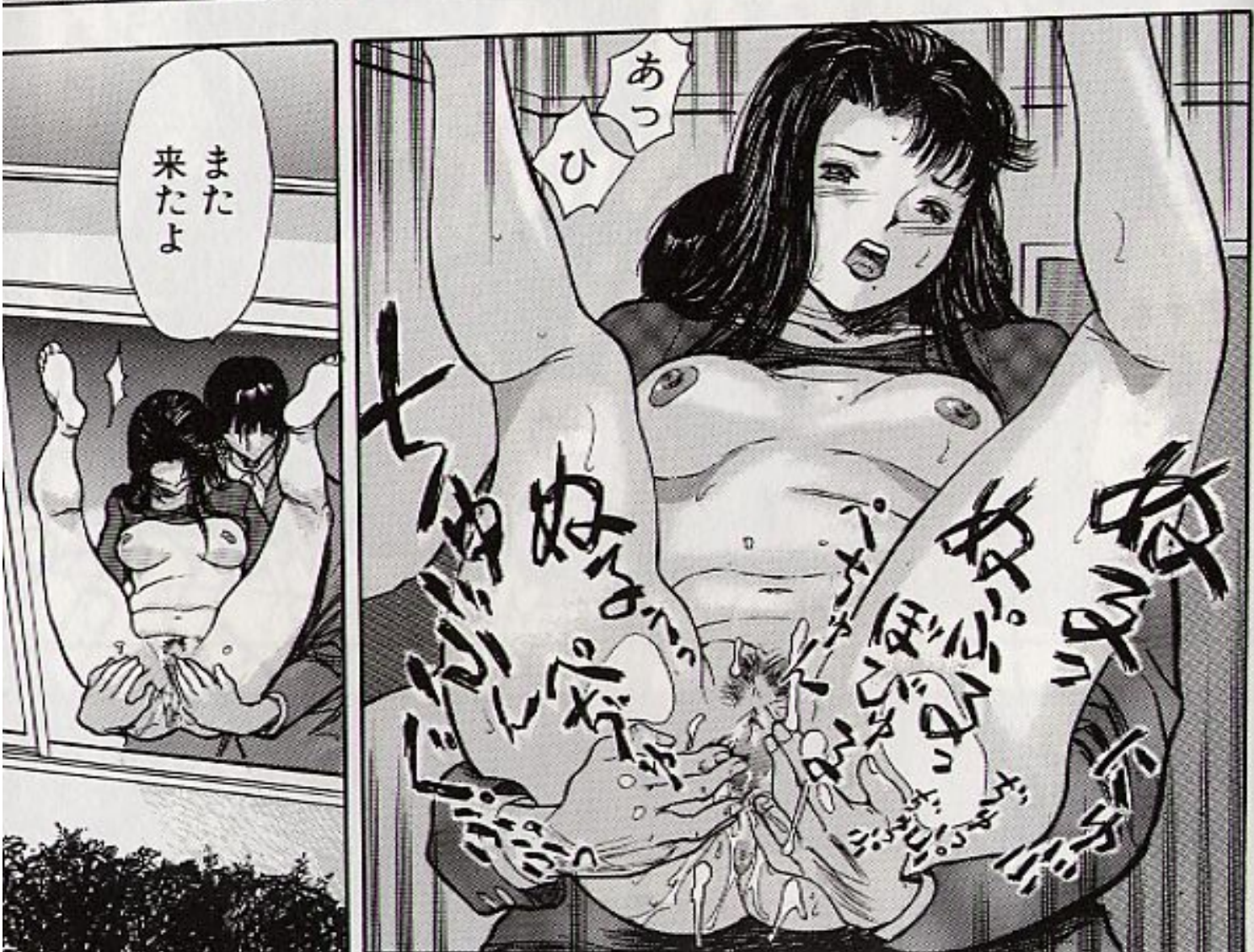
稜...!?

まだ日中
だからね
人はよく通るよ



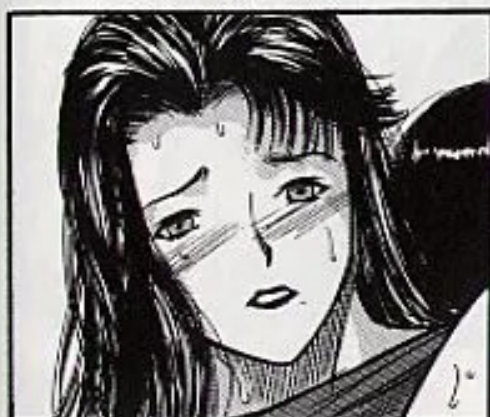
望み通り
姦してやるよ
外に向かってね

あっ
ああっ...そんな...



見られたいんでしょ…
だって

叔母さんは
変態だからね



ああッ…
そうよっ

私は変態ッ
変態なの
よッ!



グチヨグチヨのマッコ括げて
窓に押しつけて
道行く人に見せたがる
大変態なのよッ!!

見…ンッ…!!





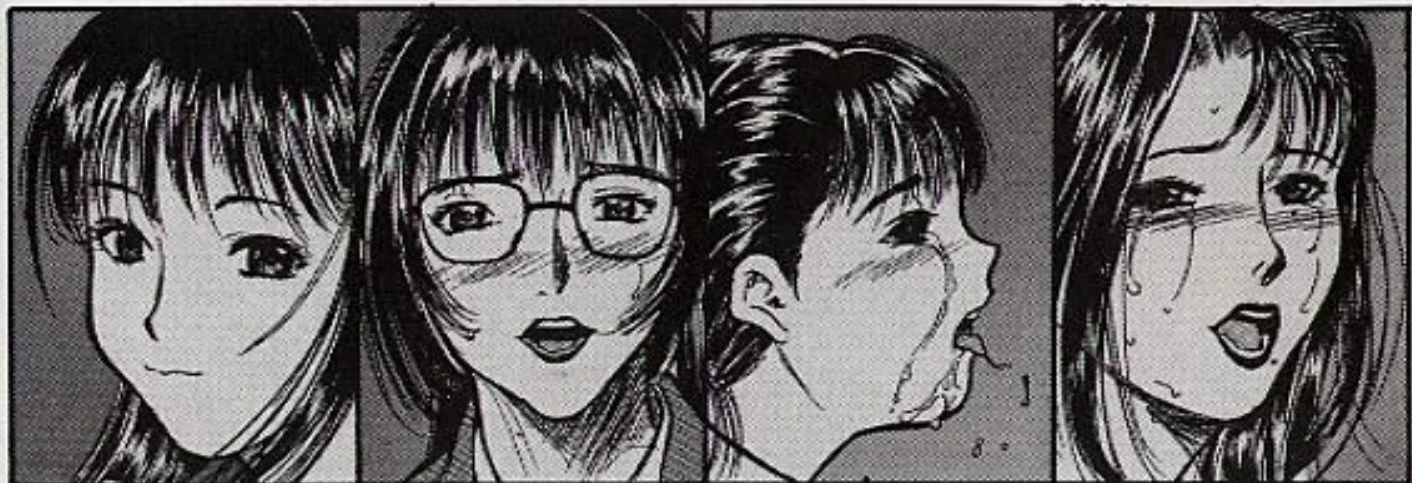
ハ…ア

ハア

ハア



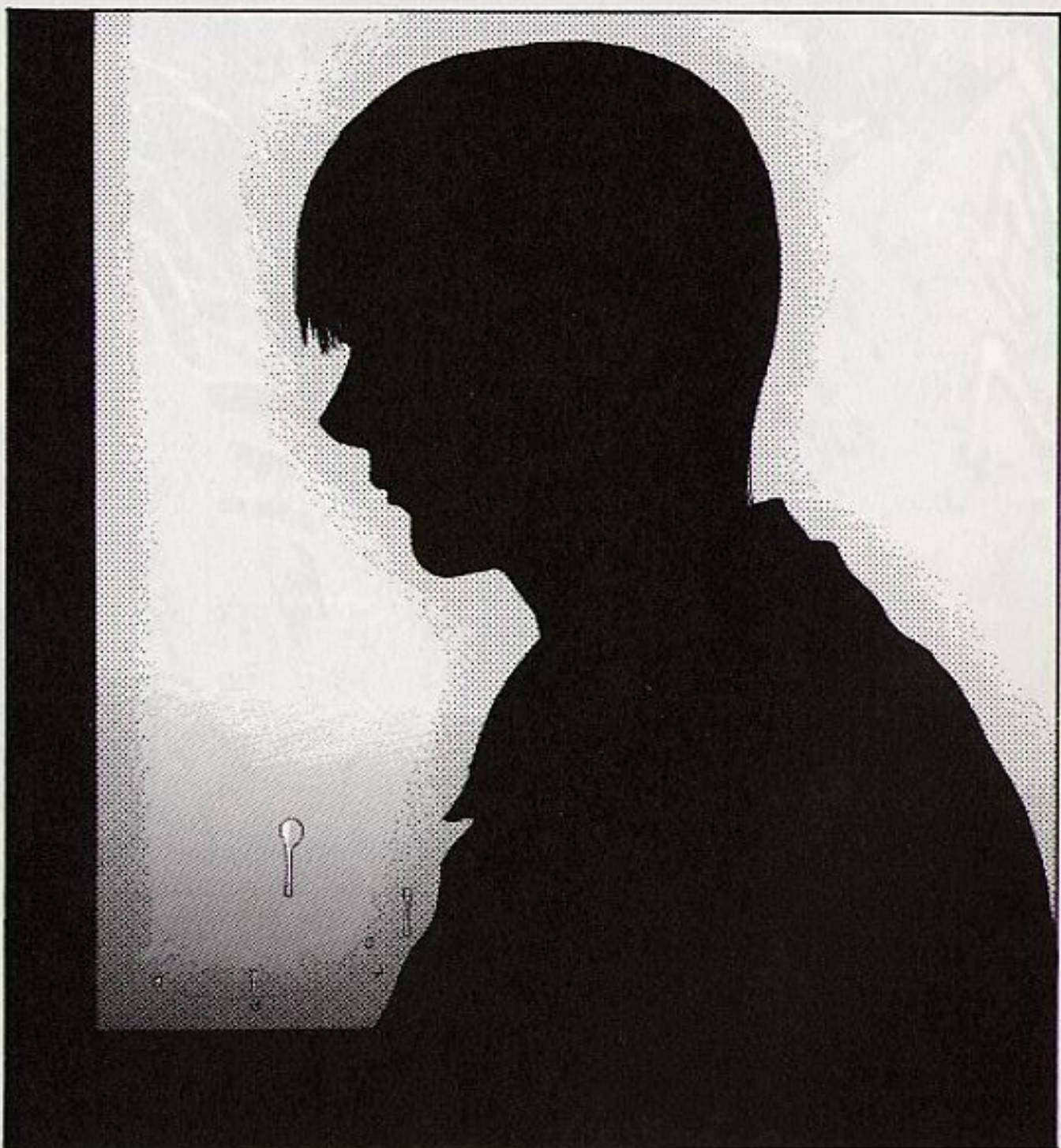
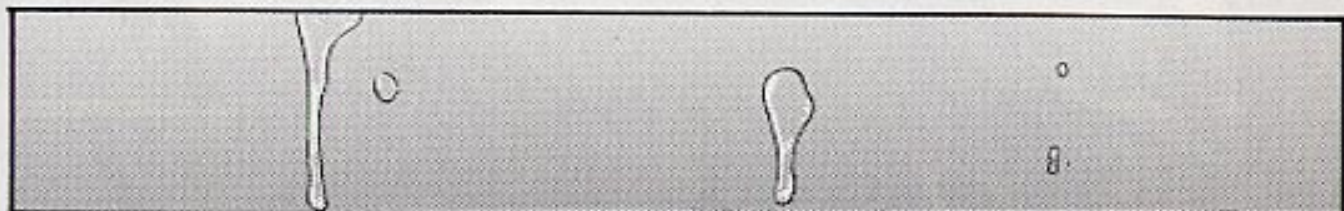




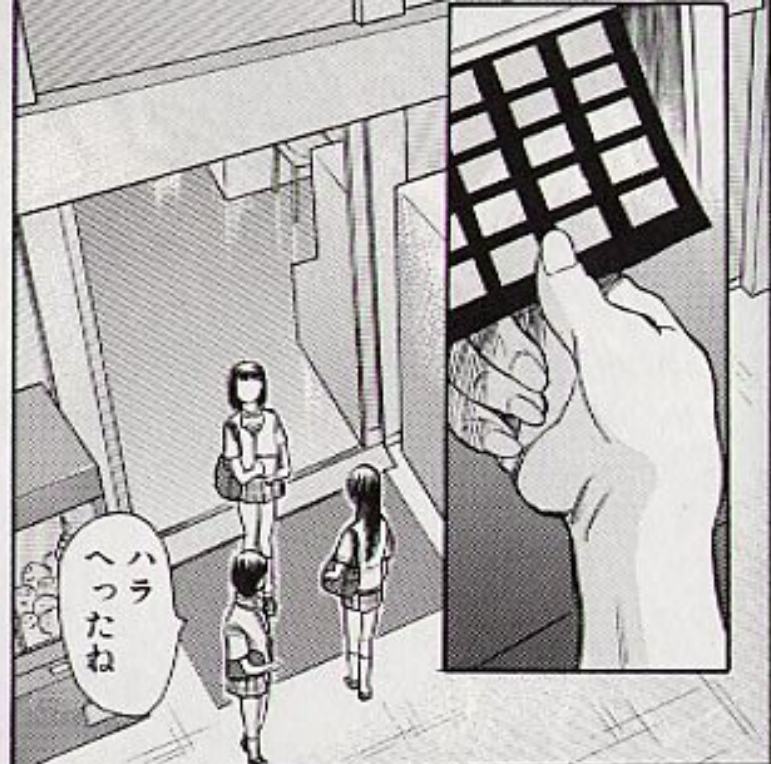
壊れて しまえ……







御免
今日
ダメなんだ...



第九話
「輪廻」

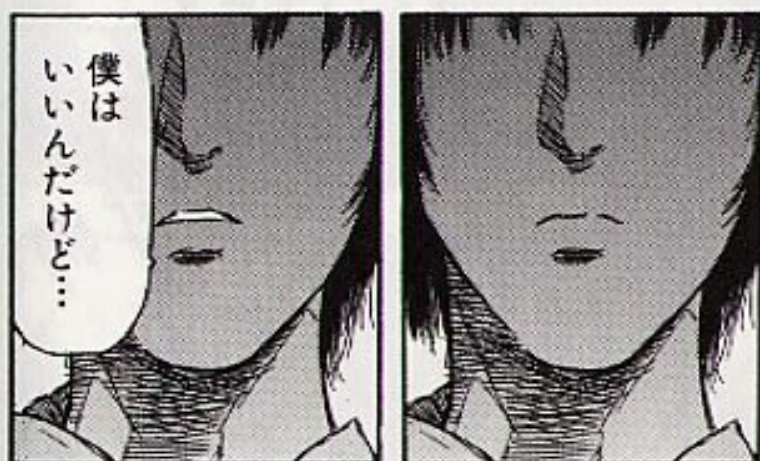


んア...

アツアア!

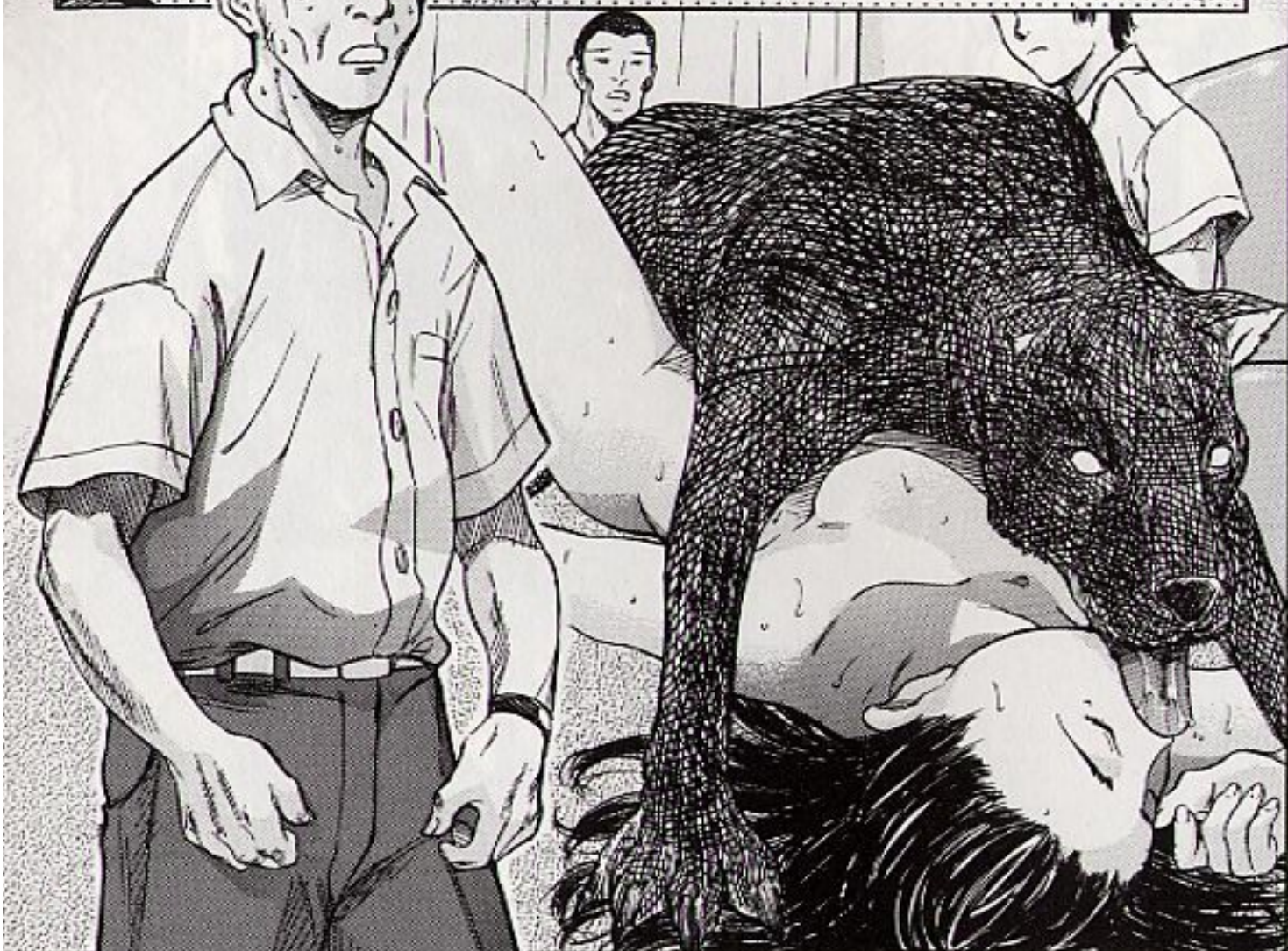








「ビリイ」の
方は？



へ…へへ
ビリイ…

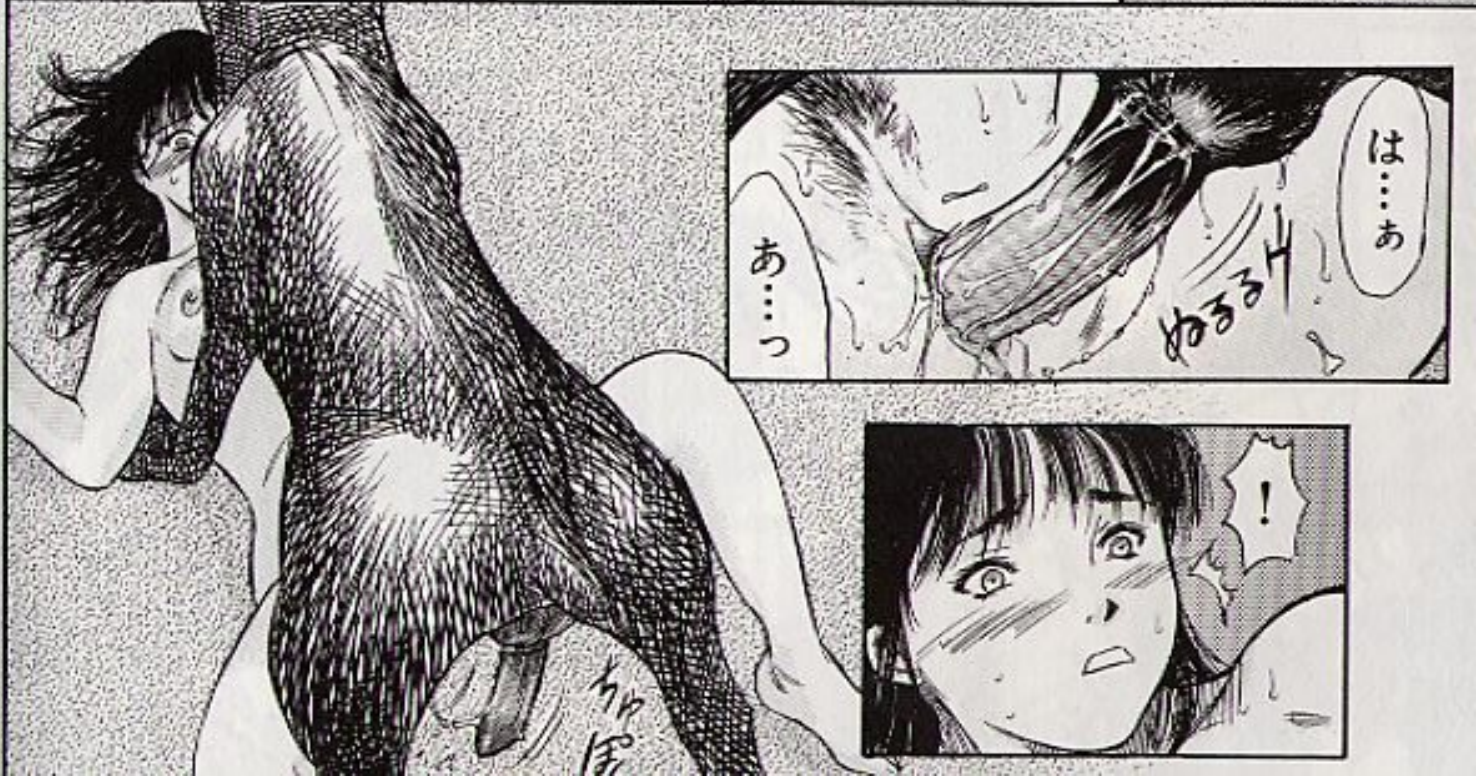
あのさ…

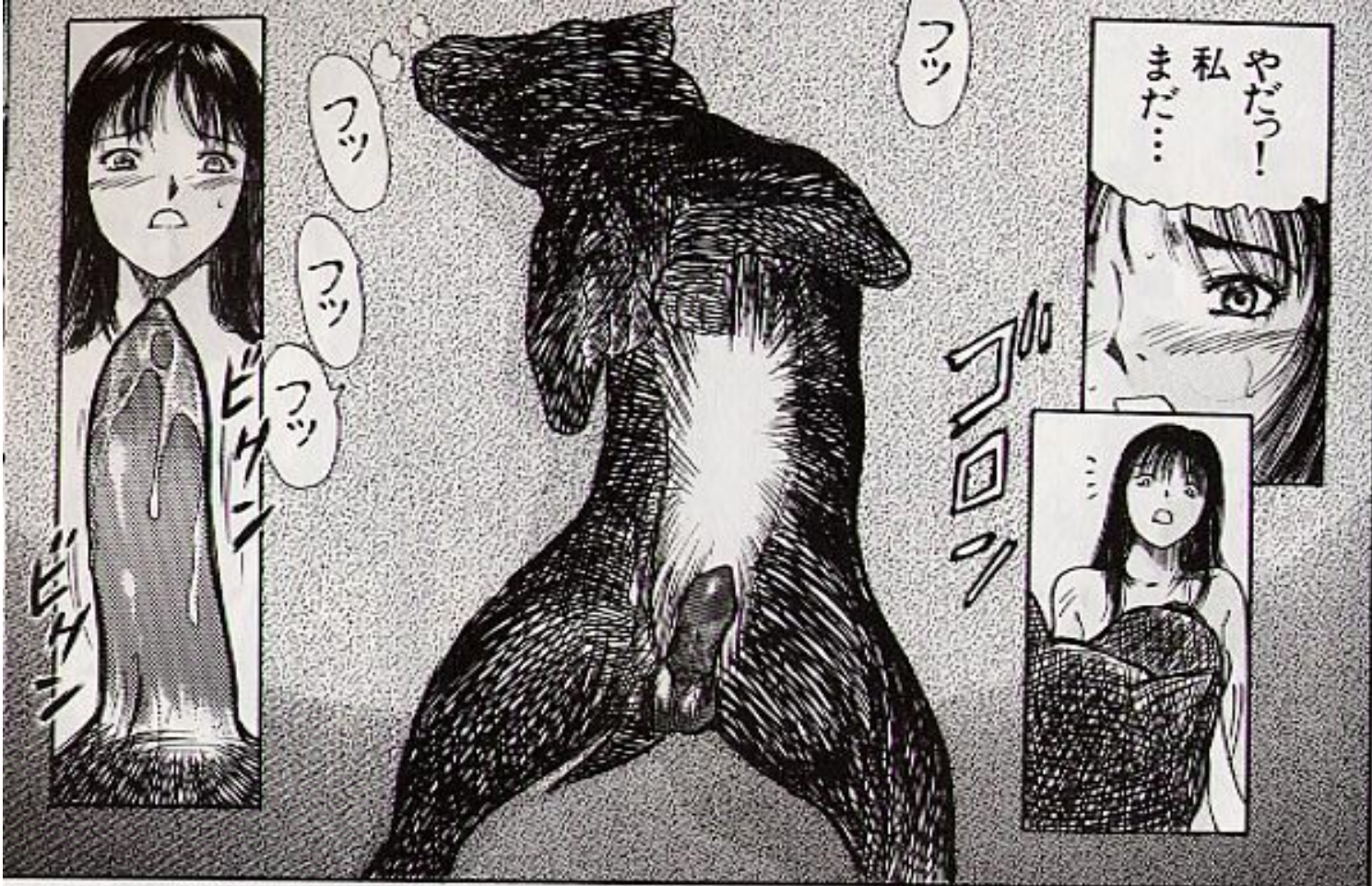


ア
アン
ハッ

ア
アッ
ア…

ハッアハ
…アッ!





んはっ
は…ア

んオ…オ
オオオツ





さ・び・り・ん・
さんづ!!

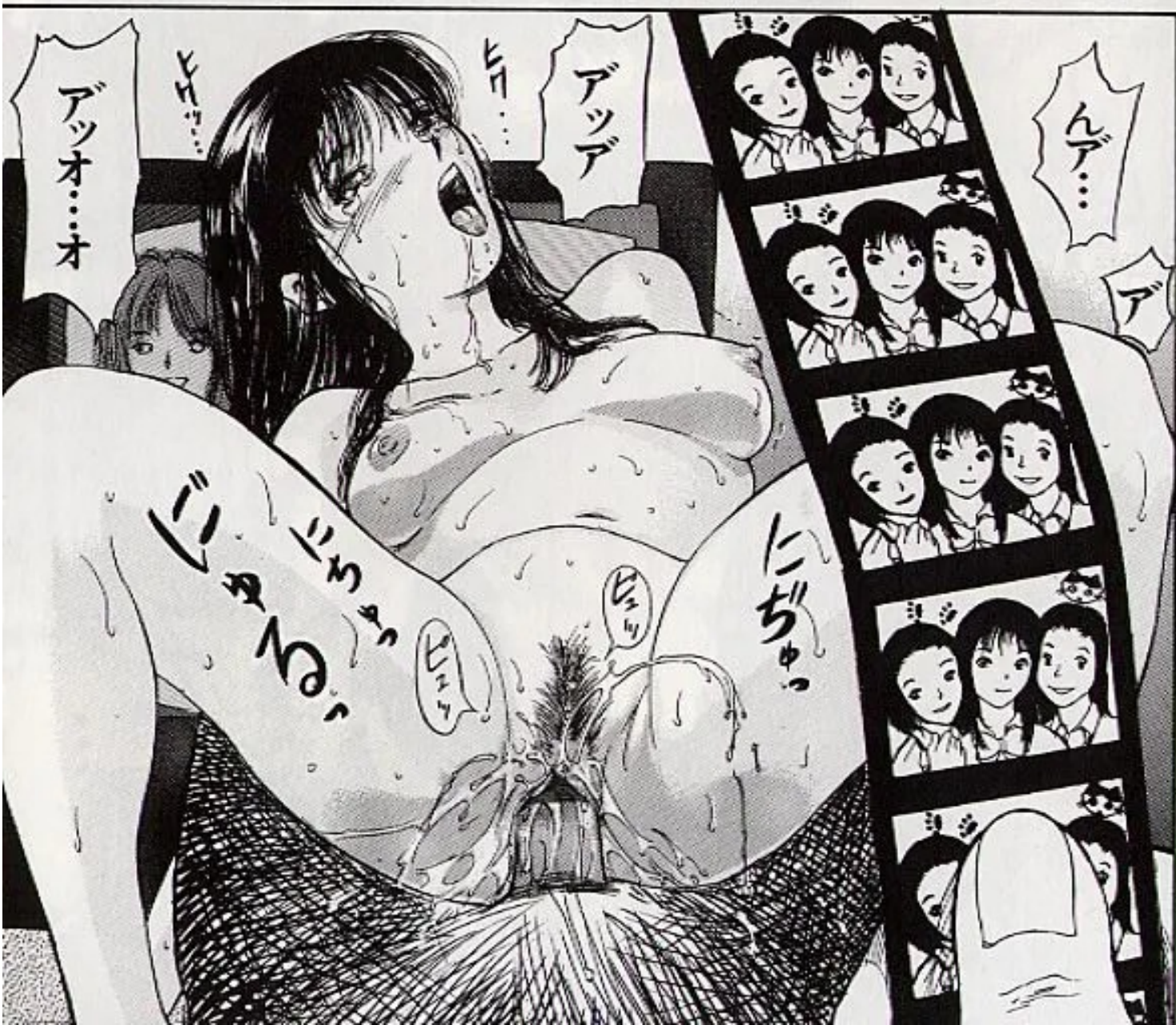
ビリイ… いや…

お願い
しますっ

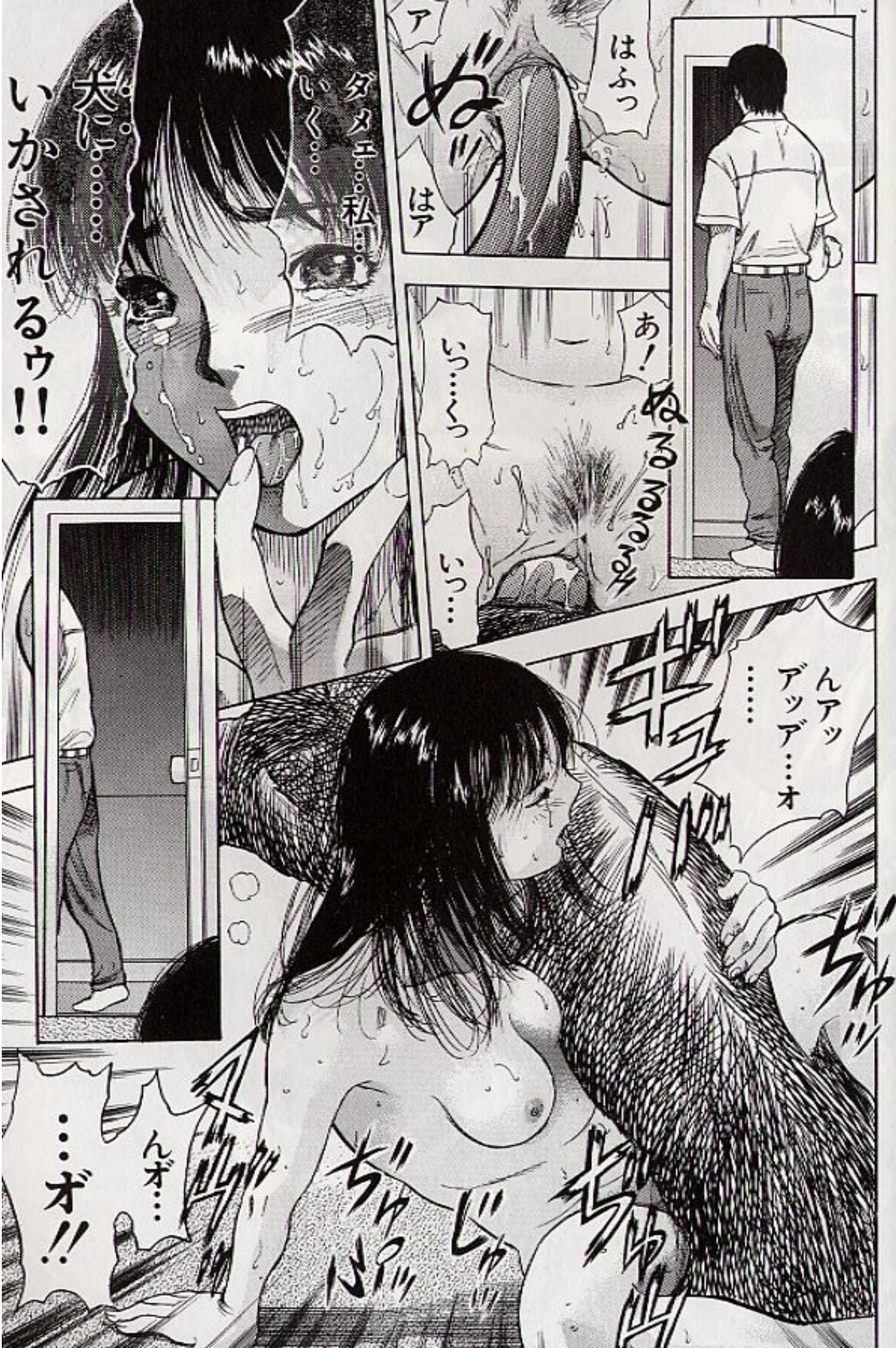
お願い…

お慈悲を〜ッ!!









いかされるウ!!

大い……

ダメエ……私……

はふっ
ぬ
はア

あ!

ぬ
no more
no more

い……

い……

んアッ
アッア……オ

……オ!!

んオ……

ちゅ
はふ

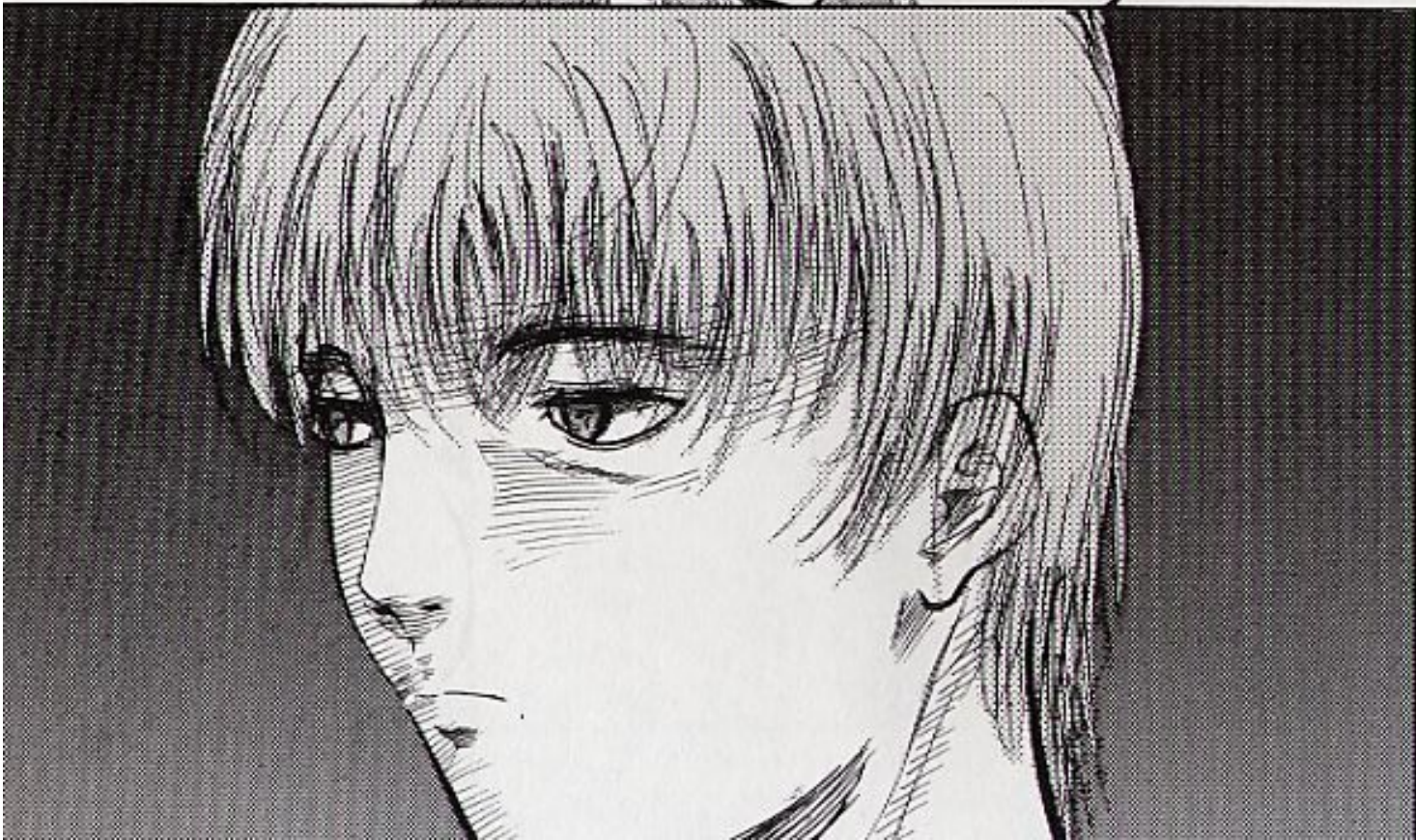
じゅ

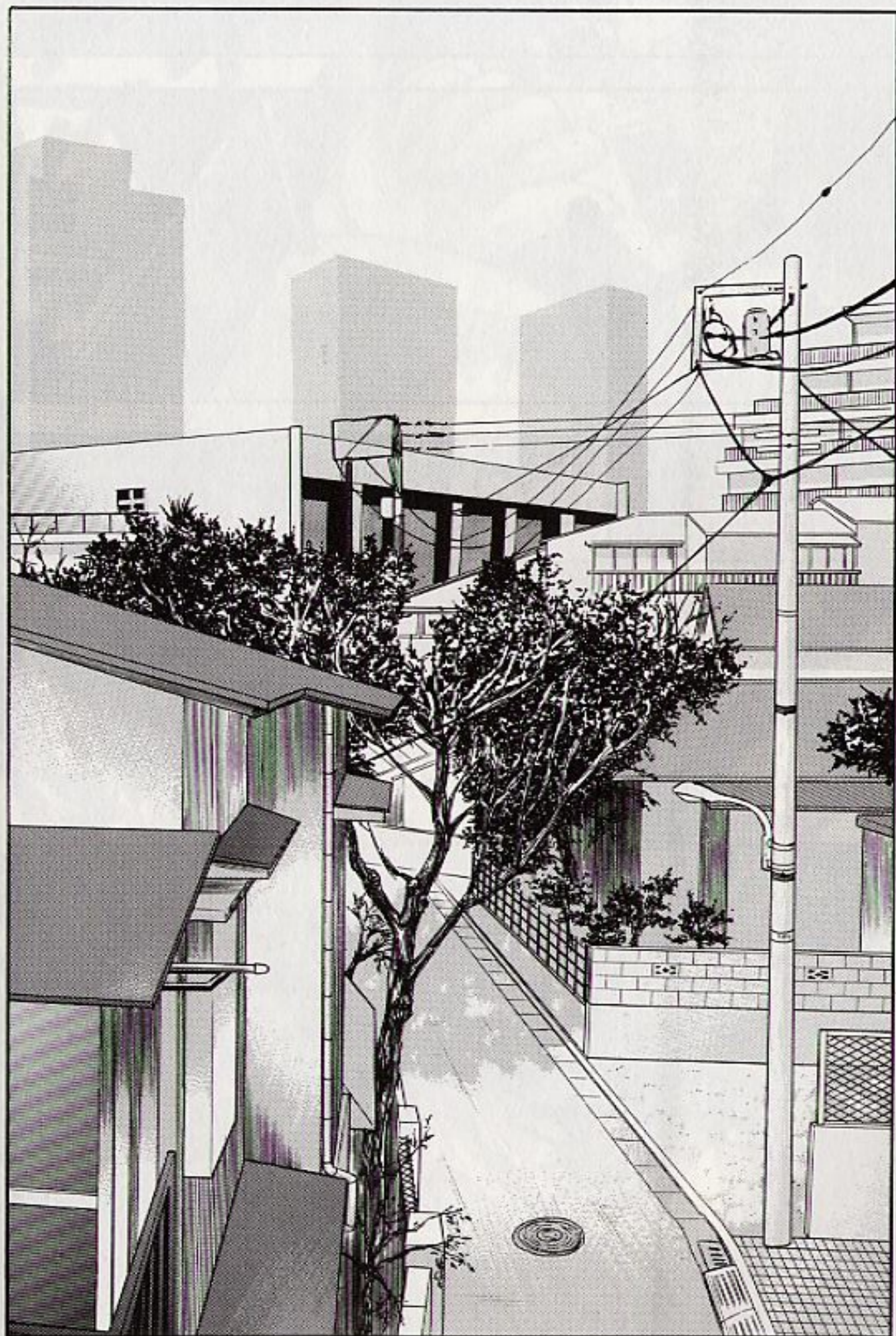
ちゅ

ちゅ

オアッ
アアッ
ア







作・画

ヤマ ゲ
山田 タヒチ

作画協力

サン スン
三寸

オレ サマ
俺様

ミ サクラ ナン コツ
御桜・軟骨

他

稜—RYO—

成年
コミック

山田タヒチ

秘

TACHICHI YAMADA

IRRYO

BEY

THE OCEANIC YAMADA

